

地域づくり提案事業

上妻校区地域振興計画

自然・伝統と共生するまち
上妻



平成29年3月

上妻校区まちづくり協議会

目次

1. はじめに	
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 地域振興計画の推進	2
(3) まちづくり団体	2
2. 上妻地区の概況	
(1) 位置地勢	3
(2) 人口等の動向	3
(3) 上妻地区の地図	4～5
3. 上妻地区の将来像	
将来像	6
4. 主要施策と実施計画	
(1) 豊かな自然と美化で癒されるまち	7～9
(2) 暮らしと健康・福祉が充実したまち	10～13
(3) 備えと地域連携で安全・安心なまち	14～16
(4) 伝統文化や住民のつながりを大切にするまち	17～19
5. 資料	
(1) アンケート調査結果表（合計）	22～31
(2) アンケート自由意見要約集	32～42
(3) 上妻校区地域振興計画策定の主な経過	43
(4) 上妻校区地域振興計画策定委員名簿	44

(1) 計画策定の趣旨

上妻地区は、農地、商業地、工業地、住宅地が混在している地域です。また、矢部川、星野川、山の井川、中の井川、花宗川などが地域を東西に流れ、豊かな水や自然を身近に親しめる環境にあります。人口は、八女市の中でも岡山地区に続いて2番目に多い地区になっています。

アンケートの結果を見ると「校区外から引っ越してきた」という回答が全回答者の**41.2%**と最も多く、上妻地区外からの移住者の多いことが伺えます。また、アンケートでは上妻を「住み良い」と答えた方が**77.3%**、「住み続けたい」と答えた方が**69.1%**となっています。

このように、多くの方が上妻地区を住みやすいと答えています。しかし、移住者が多いことや少子高齢化、核家族化の進展、生活様式の多様化などにより、上妻地区でも人と人とのふれあいや近所づきあいなどは年々希薄になりつつあります。このような中、地域コミュニティの維持や伝統行事等の継承、災害への対応を含む様々な地域課題に対応していくため、これまで以上に地域住民の繋がりがや取り組みが必要となってきました。

そこで、さらに上妻地区が魅力的で住みやすいまちになることを目指し、住民自らが「地域振興計画」を策定し、それをもとに協力しあって「まちづくり」を進めていくことにいたしました。

策定にあたっては、合併により行政区域が広域化し、行政サービスのあり方が変化してきている中、住民の視点から、自分たちが住んでいる地域のすばらしいところや、普段の暮らしの中で困っていること、不便に思っていることなど、現状と課題・地域資源等を把握・検証し、今後どのような地域になればもっと住み良いまちになるのか、そんな思いを込めました。

近年、地域のことは地域住民自らが意思決定をして、運営をしていくという自立的で主体的な運営が求められていますが、策定委員会でも行政への依存ばかりでは、人も地域も育たないという考えの下、今まで以上に住民と行政の役割や立場、責任を明確にしながらかつ協働のまちづくりを実践することが大切だと考えています。

今後、この地域振興計画を基本に、まちづくり活動を通して地域の活性化に取り組んでいきますので、多くの方の参加とご協力をお願い申し上げます。

なお、この計画の実施にあたっては、必要に応じ見直し改定を行うことで、実情にあった取り組みを進めていきます。

上妻校区まちづくり協議会
上妻校区地域振興計画策定委員会

(2) 地域振興計画の推進

① 地域振興計画とは

まちづくり団体が区域の現状や課題を明らかにし、将来のあるべき姿や理想とする地域像を定め、その実現に向けた基本方針を示す長期計画で、概ね10年後の地域の将来像を目標として、実現するための手段や課題解決に向けた基本的施策を定め年次計画にまとめるものです。

② 協働のまちづくりとは

住民と行政がお互いの立場や役割、責任を明確にしながら共通の課題の解決や夢の実現のために、協力して実践するまちづくりをいいます。

③ 計画の期間

平成28年度(2017年)を初年度として、概ね1～3年以内を短期、概ね4～6年以内を中期、概ね7年以上を長期として取り組んでいきます。ただし、社会情勢や地域住民のニーズ等の変化にも対応するため、必要に応じて見直します。

(3) まちづくり団体

現在八女市には21団体が組織されています。小学校の通学区域、または歴史的文化的に深く結びつきがある地区の主要な地域活動団体が構成委員となり、規約等を整備し共同体意識をもって、地域の活性化やまちづくり施策を推進していく住民組織で、校区まちづくり協議会や自治運営協議会、地域振興会議などがあります。

《21のまちづくり団体》

地区名	まちづくり団体名	地区名	まちづくり団体名
八女地区	福島校区まちづくり協議会	黒木地区	黒木地区自治運営協議会
	長峰校区まちづくり協議会		豊岡地区自治運営協議会
	上妻校区まちづくり協議会		串毛地区自治運営協議会
	三河校区まちづくり協議会		木屋地区自治運営協議会
	八幡校区まちづくり協議会		夢かさほら自治運営協議会
	川崎校区まちづくり協議会		大淵地区自治運営協議会
	忠見校区まちづくり協議会	立花地区	光友地区地域振興会議
	岡山校区まちづくり協議会		北山地区地域振興会議
上陽地区	白木地区地域振興会議		
矢部地区	矢部地域づくり協議会		NPO 法人辺春地域振興会議
星野地区	星野地区まちづくり協議会		

上妻地区の概況

(1) 位置地勢

上妻地区は、旧八女市の中央部に位置し、南は旧立花町に接しています。地形は、全体的に東から西へ穏やかに傾斜している平坦地で、地域北端には山の井川、中央部には中の井川、南端には矢部川、星野川、花宗川が東から西へ流れており、河川に挟まれた地域です。

こうした豊かな水環境に恵まれ、田園地帯も広がっている一方で、広域的な幹線道路としては、国道3号、久留米立花線が南北方向に、新旧国道442号及び市道矢部線（バルビゾンの道）が東西方向に走っており、交通機能の骨格軸は充実しています。

地域の特性としては、農地、商業地、工業地、住宅地が混在している地域で、地域内においては一部市街化している地区もある一方、全体的には田園が広がり、伝統的な建築物や菩提樹・大樟など独特な景観と八朔祭、水天宮祭など伝統的な祭事が受け継がれています。また、地区内には勤労青少年ホームや市総合体育館があり、市中心部の都市機能を担っています。

(2) 人口等の動向

上妻地区の人口は一時増加傾向から減少に転じ、近年では微増と微減を繰り返しながら推移しています。ただし、世帯は増加しています。

①上妻校区の人口・世帯数の推移（住民基本台帳による）（単位：人・戸）

行政区名	H15・4・1		H20・4・1		H25・4・1		H29・1・31	
	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
祈 禱 院	830	272	779	274	757	285	696	273
上 津 江	390	116	407	119	385	121	391	128
下 津 江	485	138	429	134	407	139	385	138
大 福 寺	1,011	350	917	346	893	354	851	354
東 馬 場	47	21	44	22	44	20	41	21
南 馬 場	1,021	359	1,019	376	1,029	395	962	397
栄 町	192	76	182	81	247	117	229	117
北 馬 場	904	270	856	283	831	292	889	331
納 楚	1,217	406	1,193	418	1,188	439	1,163	433
平 田	777	236	735	237	785	258	816	275
合 計	6,874	2,244	6,561	2,290	6,566	2,420	6,423	2,467

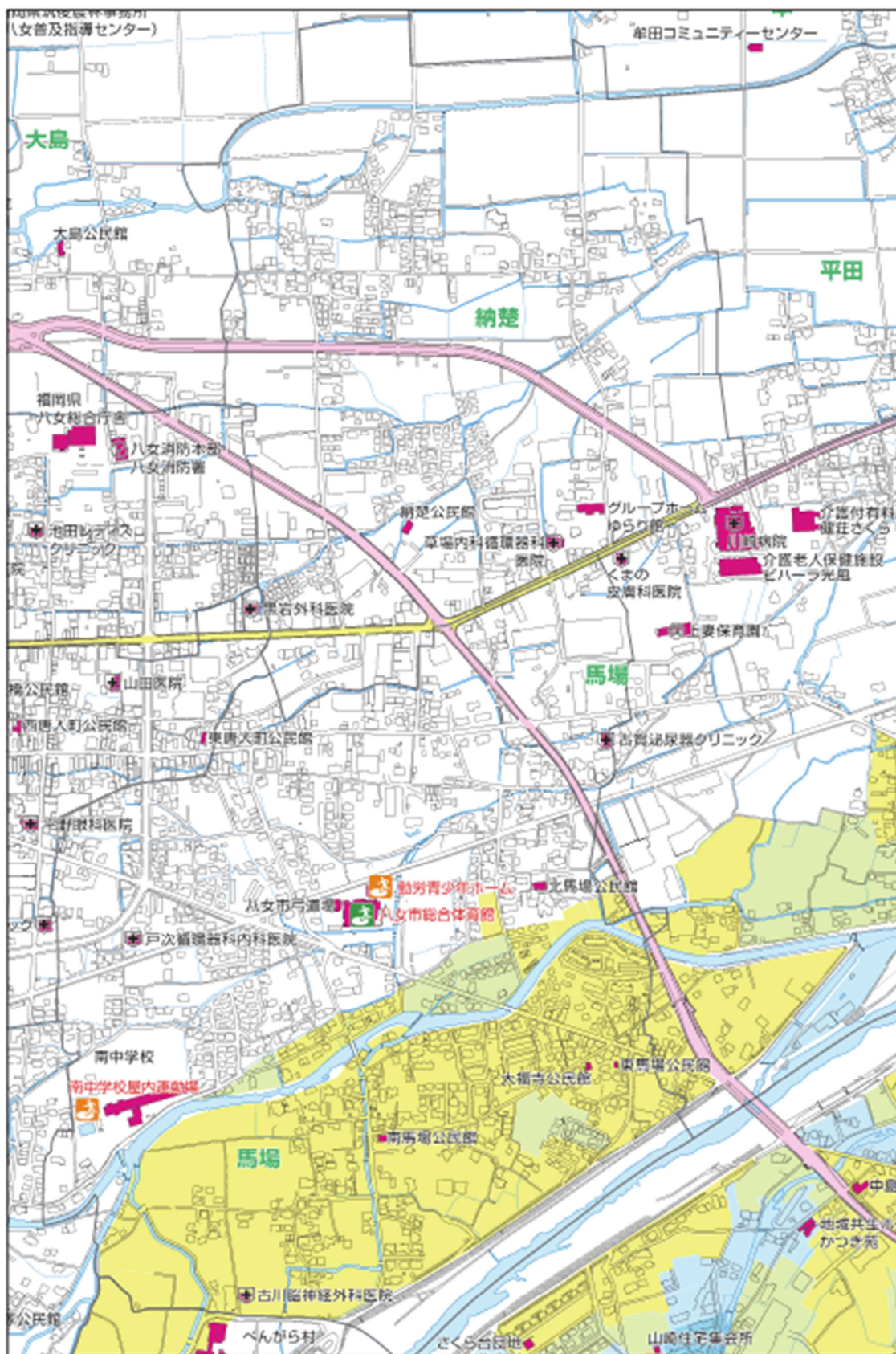
②八女市内で人口の多い10地区

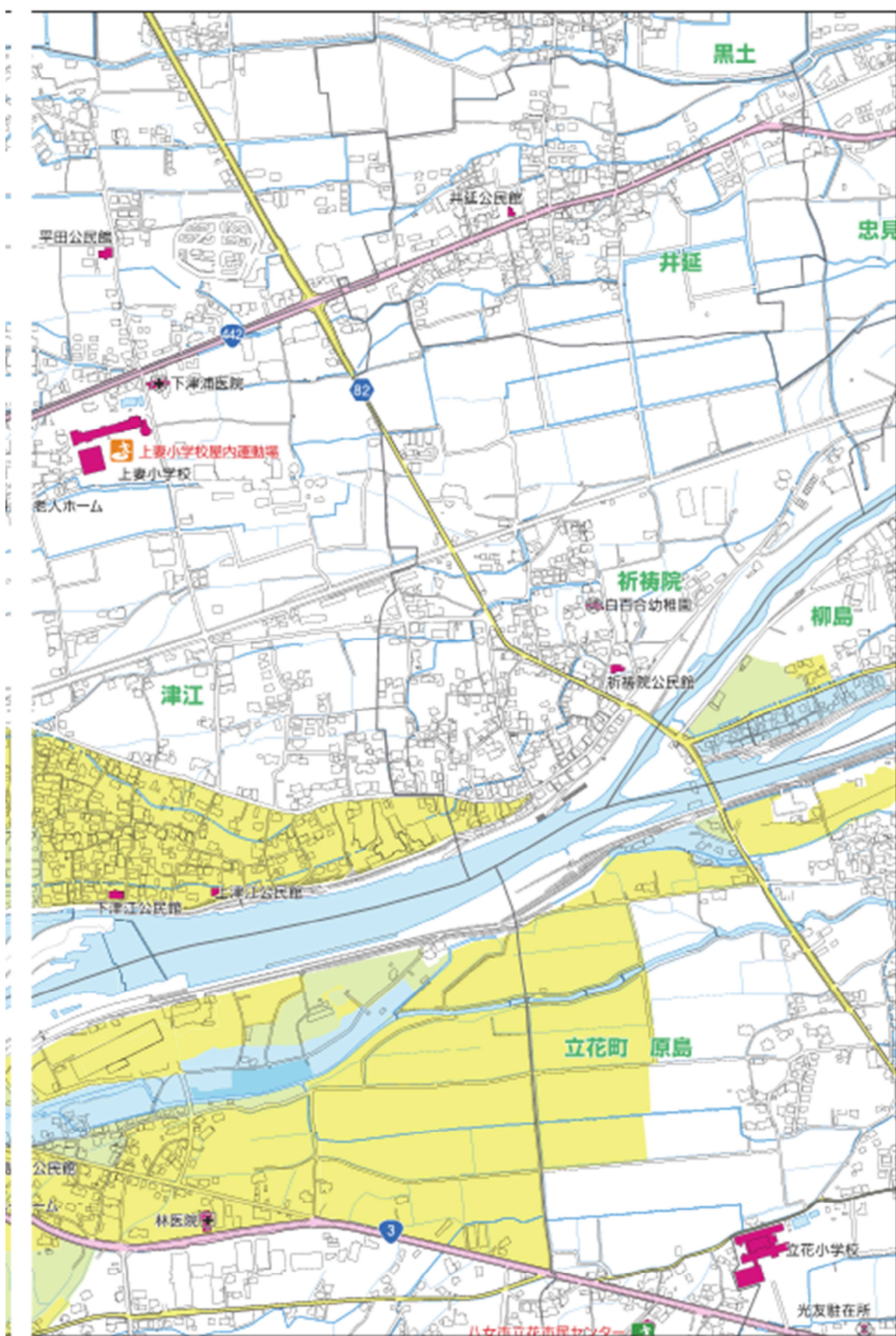
順位	地区名	人口	世帯	順位	地区名	人口	世帯
1	岡山	7,302	2,765	6	黒木	3,747	1,343
2	上妻	6,423	2,467	7	三河	3,481	1,278
3	福島	6,415	2,567	8	黒木西	3,447	1,202
4	長峰	6,203	2,362	9	忠見	3,398	1,242
5	光友	4,249	1,494	10	上陽	3,188	1,379

八女市合計	人口	65,393	世帯	24,638
-------	----	--------	----	--------

平成29年1月
末現在
住民基本台帳
による
(単位)
人口＝人
世帯＝戸

(3) 上妻地区の地図





将来像

私たちが暮らす上妻地区の将来はどうあるべきか。地域の多くの方から寄せられたアンケートの意見やワークショップ等を通じて、上妻地区の今後のあり方を検討してきました。

上妻地区には、地域を東西に流れている矢部川、星野川、山の井川、中の井川、花宗川の豊かな水環境や、社寺林、田園などの緑地が広がっています。それらの自然や伝統文化、人々の生活を次世代に伝え、大切にしながら住民同士のふれあいを通じ、誰もが安全・安心に暮らせるまち上妻、住みたいと思えるまち上妻をめざしていきます。

以上を踏まえ、上妻地区のまちづくりの基本理念となる地区のめざすべき姿と、実現に向けた基本目標を設定します。

《基本理念》


自然・伝統と共生するまち上妻

《基本目標》

**1. 豊かな自然と
美化で癒さ
れるまち**

《テーマ》

- ◇自然、景観
(環境衛生)
- ◇道路、河川愛護
- ◇耕作放棄地

**2. 暮らしと健康・
福祉が充実し
たまち**

《テーマ》

- ◇暮らし(買い物、
交通、健康)
- ◇高齢者対策
- ◇子育て支援

**3. 備えと地域連
携で安全・安
心なまち**

《テーマ》

- ◇防災
- ◇防犯
- ◇交通安全
- ◇空き家

**4. 伝統文化や住
民のつながり
を大切にする
まち**

《テーマ》

- ◇コミュニティ
(人・地域行事・
集落施設)
- ◇歴史文化
- ◇伝統行事

4つの基本目標ごとに、課題解決のため現在取り組んでいることを含めて、施策および実現に向けての実施計画としてまとめました。

基本目標**(1) 豊かな自然と美化で癒されるまち**

私たちが住む上妻地区は、昔から恵まれた自然に恩恵を受けて暮らして来ました。時代と共に市街化が徐々に進み、これまでの環境が一変した地域もありますが、矢部川をはじめとする河川・堤防の景観や田畑の緑、桜、菜の花、彼岸花、コスモスなど四季折々の季節を感じることで自然は、地域の宝といえます。

また、天福寺の菩提樹、熊野速玉神社や鈍土羅の大樟は、歴史ある社寺とともに独特な景観を残しています。

こうした美しい自然や景観を守り継承していくために、地域住民は河川愛護や堤防の除草作業、道路愛護、神社境内の清掃作業などに取り組んでいます。しかし、景観を損なうような不法投棄やポイ捨て、犬のフン害などの迷惑行為や河川の汚濁問題等についての指摘が寄せられています。一方、清掃作業等の参加が高齢のため困難であったり、住民の生活スタイルの多様化により地域活動への理解も弱まっており、このような地域活動を続けていくことが年々難しくなっています。このことは、今後環境美化とともに地域活性化への影響が憂慮されます。

このため、住民意識の啓発活動とともに、緑を増やす植樹活動、川に生き物が棲む自然環境保全活動に取り組み、豊かな自然と美化で癒されるまちづくりが求められています。



熊野速玉神社

施策**◇テーマ<<自然・景観（環境衛生）>>**

1. 環境教育の推進
2. 啓発活動・モラル向上の取り組み
3. 環境美化（景観）活動

◇テーマ<<道路、河川愛護・耕作放棄地>>

1. 清掃活動
2. 自然環境美化保全活動
3. 自然環境とふれあう癒しの場の創出

※＜実施主体＞行政欄の◎印

住民が完結するには、明らかに限界があるため行政が主になって取り組む内容

実現に向けての実施計画

(1) 豊かな自然と美化で癒されるまち

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
自然・景観 (環境衛生)	1. 環境教育の推進 ①環境学習会等を開催し、住民一人ひとりの生活と自然環境が密接に関わっていることを学び、自然環境保全や美化活動への意識の高揚を図っていきます。		○		○		
	2. 啓発活動・モラル向上の取り組み ①自然環境保全、河川愛護、道路愛護等に関するポスターを地区内の子ども達から作成してもらい地区内に掲示します。	○			○		
	②不法投棄防止、犬のフン放置防止等の看板の設置と、抑制のための声かけを進めます。		○		○		
	③ごみ出しの適正排出ルールの徹底と、住民同士が不愉快な思いをしないように声かけを徹底します。	○			○		
	④ごみ不法投棄対策パトロール隊（仮称）の設置について検討していきます。	○				○	
	3. 環境美化（景観）活動 ①河川沿いや堤防沿いの危険除去と花・木の植栽を進めます。	○				○	
	②道路沿いにプランターの設置、または、街路樹の周りや庭先・軒先に季節ごとの花の植栽などを検討し、美しいまちづくりへの景観イメージアップに努めます。		○			○	
道路、河川愛護・耕作放棄地	1. 清掃活動 ①年4回、上妻校区統一の一斉清掃日を設定します。(河川、道路ほか)	○				○	
	②清掃活動への参加困難者や非協力者等について、検討していきます。	○				○	
	2. 自然環境美化保全活動 ①魚が棲み、ホタルが舞う美しい河川と、その環境づくりを進めていきます。		○			○	
	②河川の汚濁等の原因調査と改善について、関係機関へ要望していきます。		○	◎			○

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
道路、河川愛護・耕作放棄地	③耕作放棄地等を花畑にします。		○				○
	3. 自然環境とふれあう癒しの場創出 ①子どもからお年寄りまで、自然と親しみ人々が癒される“自然環境とふれあう癒しの場”の創出について検討し、必要に応じ関係機関との調整や具体化について要望していきます。 (河川敷、堤防の活用・耕作放棄地の活用・遊歩道設置ほか)	○		◎			○

基本目標

(2) 暮らしと健康・福祉が充実したまち

私たちが暮らす上妻地区には、スーパーや医療機関等が近くにあり、主要道路の整備環境も他の地区と比べて比較的恵まれています。アンケートでも「日常生活において買い物など便利な地域である」と、一番多くの回答を得ています。しかし、高齢者にとっては近所の馴染みの店がなくなったことや、車の運転ができないことなどにより、買い物や通院等に対し不便さを訴えています。

便利な暮らしと同様に、誰もが生涯にわたり健康に過ごすことを願っています。健康への関心は高齢者ほど高く、自衛手段としてのラジオ体操やスポーツ等を自主開催している人や地域・グループもみられます。今後、健康増進と住民交流を促進する上で、地域住民が気軽に参加できるような取り組みを検討し、上妻全地区に広めていく必要があります。

また、現代社会では生活習慣病の予防など健康を維持していくことの大切さが叫ばれています。そこで、上妻地区は医療機関やスポーツ施設、介護施設などに比較的恵まれているため、関係機関の協力を得て予防対策を講じることが望まれます。

他方、上妻地区も他の地区と同様に少子化の傾向にあります。現状ではまだまだ多くの子ども達が友達に囲まれ、共に学び、遊び、育つ環境にありますが、次代を担う子ども達が少なくなれば地域の活力が失われていきます。また、上妻地区には児童福祉法に基づく母子生活支援施設「ひまわり園」があり、地域の子育て同様、地域でできる支援も必要と考えられます。

さらに、子ども達に関するアンケート等の意見では、「子ども達が自由にのびのびと遊べる公園の建設」要望が多く寄せられています。

こうしたことから、高齢者支援や子育て支援などを考えながら、上妻地区で暮らす人々の生活向上や健康推進を更に充実させ、工夫しながら地域力、住民力を高め、健康で暮らしやすい環境をつくっていくことが求められています。



八女市総合体育館

施策

◇テーマ 《暮らし（買い物・交通・健康）》

1. 買い物・通院等の支援
2. 八女市乗り合いタクシーの積極的推進と利用
3. ごみ出し排出支援
4. 健康増進活動と地域活性化推進
5. 健康教室の開催
6. 介護予防講習会の開催

◇テーマ 《高齢者対策》

1. 高齢者の生きがいづくり
2. 高齢者の日常生活支援
3. 多世代間のふれあい活動の推進

◇テーマ 《子育て支援》

1. あいさつ運動の推進
2. 高齢者との交流促進
3. 地域で支えていく子どもの成長支援
4. 多目的公園の建設促進

実現に向けての実施計画

(2) 暮らしと健康・福祉が充実したまち

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
暮らし (買い物・交通・健康)	1. 買い物・通院等の支援 ①高齢者など買い物困難者への買い物に対する支援および通院支援として、移動手段確保の検討を行います。		○			○	
	②高齢者など買い物困難者に対する支援策として、買い出し支援について検討を行います。		○			○	
	2. 八女市乗り合いタクシーの積極的推進と利用 ①八女市乗り合いタクシーへの利用登録を呼びかけ、利用促進を図ります。		○		○		
	3. ごみ出し排出支援 ①ごみ出しが困難な高齢者等への排出支援策を隣組単位で対応（検討）していきます。	○				○	
	4. 健康増進活動と地域活性化推進 ①一部の地域で実施されているラジオ体操を上妻全地区に広め、健康増進と交流促進の両面の効果を図ります。	○			○		
	②校区民歩け歩け運動を通し、健康増進、交流促進を深めます。	○			○		
	③様々な年齢層の住民が参加できる健康対策のイベントを検討し、世代を超えた交流の推進を図ります。	○				○	

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
暮らし (健康)	5. 健康教室の開催 ①専門機関の連携により、健康予防講座を開催します。		○			○	
	6. 介護予防講習会の開催 ①介護予防のための講習会を開催します。		○			○	
高齢者対策	1. 高齢者の生きがいづくり ①高齢者の趣味の会やサークル活動を通じ、生きがいづくりを促進していきます。そのためのリーダーや指導者等の育成を図っていきます。		○			○	
	②高齢者の情報交換や交流の場として、いきいきサロン活動を小地域で開催します。		○		○		
	③高齢者の得意分野を活かせる活動の場づくりを検討していきます。		○			○	
	④高齢者向けの娯楽として、グラウンドゴルフやカラオケ等を積極的に開催し、併せて引きこもり防止を図っていきます。	○			○		
	2. 高齢者の日常生活支援 ①安否確認として、見守り、声かけ、普段からのあいさつや行事への誘い、市広報誌の配布時、窓の明かりの確認など気遣いを心がけていきます。	○			○		
	②日常生活の軽微な手助けをするボランティア組織の仕組みづくりについて検討していきます。	○					○
	③地域での支援活動を充実していくため、八女市社会福祉協議会がすすめる福祉部会を設置し、関係機関・団体等との連携、強化を図っていきます。		○		○		
3. 多世代間のふれあい活動の推進 ①高齢者の得意分野を教える、または披露できる“場”をつくり、地域住民とのふれあいを促進します。(園芸・竹工芸・しめ縄づくり・演芸・手品・郷土料理・昔の遊び道具他)	○				○		
子育て支援	1. あいさつ運動の推進 ①上妻地区あげての「あいさつ運動」を通じ、地域ぐるみで子どもを育てる風土をつくります。	○			○		

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
子育て支援	2. 高齢者との交流促進 ①高齢者がもっている知恵や物づくりの技術を学び体験することで、知識、技術を習得し、併せて高齢者を敬うことのできる子ども達の育成に努めます。(囲碁・将棋・しめ縄づくり・竹工芸・昔の遊び道具他)	○			○		
	3. 地域で支えていく子どもの成長支援 ①コミュニティ・スクールの指定を受けた上妻小学校のパートナーとして連携・協力し、子ども達の成長を支え「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。		○			○	
	②母子生活支援施設「ひまわり園」との交流を深めていきます。		○	◎		○	
	4. 多目的公園の建設促進 ①地域住民の憩いの場および子ども達が安心して遊べる公園等の建設について研究し、関係機関へ要望していきます。	○		◎		○	

基本目標

(3) 備えと地域連携で安全・安心なまち

上妻地区の住みやすさに関するアンケート調査では、「公害や災害が少ない」「防犯や防災の面で安心」の回答が上位となっています。これは、私たちが住む上妻地区でこれまで比較的自然災害等が少なかった上、治安上の問題もさほどなく、安全で安心して暮らすことのできた結果だと考えられます。しかし、平成24年の九州北部豪雨災害では、上妻地区の一部において甚大な被害が発生し、住民生活にも影響を及ぼしました。



自主防災訓練

私たちが生活する上で、一番大切なことは子どもから高齢者まで全ての住民が安全で安心して暮らせることです。近年頻発するゲリラ豪雨や地震などの自然災害をはじめ、交通事故、犯罪等はいつ発生してもおかしくない状況にあります。そこで、自然災害、火災、交通事故や犯罪などの被害を未然に防ぐため、日頃からの備えとして自主防災組織と消防団との連携を強化し、地域の防災力・防犯力を高める取り組みが必要となってきています。そのためにも消防団については、団員の確保が困難になりつつあるため、地域で消防団組織の理解と支援が必要となってきています。一方、住民の要望や不安の意見として、空き家問題に関する意見や生活道路が狭く緊急車両が入れない等の意見、交通安全面での道路整備に対する要望、などが多く寄せられています。特に、空き家に対する住民の関心は高く、防災上の問題や防犯上の問題などが指摘されています。また、地域の交通安全は交通安全指導員等により支えられているところがありますが、指導員の確保が難しくなってきています。

現在、上妻地区における防災・防犯・交通安全等に関する不安要素はあるものの、危機的意識は低いと思われます。“備えあれば憂いなし”と言われるように、安全・安心なまちをめざすために、しっかりと住民意識の醸成や啓発に努め、予防や被害等を最小限にとどめるための準備と体制を構築していく必要があります。

施策

◇テーマ《防災・防犯》

1. 災害危険個所点検調査と要望活動
2. 自主防災組織の機能強化
3. 地域の安全・安心見守り活動
4. 犯罪予防および抑制活動
5. 防犯灯・防犯カメラの設置
6. 消防団員の確保支援

◇テーマ《交通安全》

1. 交通安全危険箇所点検調査と要望活動
2. 交通安全教室の開催
3. 交通安全パトロール隊の充実
4. 交通安全指導員の確保支援

◇テーマ《空き家》

1. 空き家問題に対する意識の醸成と啓発活動
2. 八女市（行政）の支援事業の周知

実現に向けての実施計画

(3) 備えと地域連携で安全・安心なまち

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
防災・防犯	1. 災害危険箇所点検調査と要望活動 ①道路の冠水、河川の氾濫、土砂崩れ等が心配される箇所や危険箇所の点検調査をし、必要な改修工事等を関係機関へ要望していきます。	○		◎		○	
	2. 自主防災組織の機能強化 ①自主防災力の向上を図るため、自主防災組織のリーダー養成研修会等を開催します。		○			○	
	②自主防災組織の効果的な活動をめざし、地元消防団と定期的な防災訓練等を実施します。	○			○		
	③自主防災組織間の交流を進め、校区一体となった防災講習会・防災訓練を実施し意識啓発を図ります。		○			○	
	④災害時における避難場所、避難誘導等について地域住民の安全確保ができる共有のシステムづくりを検討していきます。		○			○	
	3. 地域の安全・安心見守り活動 ①一部の行政区で実施している夜間見回り活動を全行政区に広めていきます。	○			○		
	②子どもが参加する「火の用心」声かけ見回りを検討していきます。	○				○	
4. 犯罪予防および抑制活動 ①知能犯罪等から高齢者を守り、被害防止のための情報提供をはじめ防犯講習会を開催します。		○		○			

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
防災・防犯	②地域住民を犯罪等から未然に防ぐため、声かけ活動を行います。	○			○		
	③防犯啓発用の看板を作成し設置します。	○			○		
	5. 防犯灯・防犯カメラの設置 ①既存の防犯灯を含め点検調査を行い、LEDや人感センサー機能の街灯の取り換えや、新設箇所への取り付けを検討していきます。		○		○		
	②犯罪等から地域住民を守るため、必要な箇所に防犯カメラの設置を検討します。		○			○	
	6. 消防団員の確保支援 ①消防団員確保のため、地域住民に対する理解と協力について取り組みます。	○			○		
交通安全	1. 交通安全危険箇所点検調査と要望活動 ①児童の通学における危険道路等の調査を行い、必要な措置を関係機関へ要望していきます。	○		◎	○		
	②安全な交通環境を整備するため、信号機、歩道、道路標識、カーブミラー、グリーンベルトなどの適正配置について点検調査を行い、必要な措置を関係機関へ要望していきます。	○		◎			○
	2. 交通安全教室の開催 ①交通ルールやマナー向上を図るため、交通安全教室を開催します。		○		○		
	3. 交通安全パトロール隊の充実 ①交通安全街頭指導をより充実していきます。	○			○		
	4. 交通安全指導員の確保支援 ①地域の交通安全を充実するため、住民の理解と協力により指導員の確保に取り組みます。	○			○		
空き家	1. 空き家問題に対する意識の醸成と啓発活動 ①所有者が適切な管理や、円滑に次世代へ引き継げるよう、意識の醸成や啓発活動に取り組みます。		○			○	
	②空き家になった場合の問題や影響などを広報やパンフレット等を通じて、住民へ広く発信していきます。		○			○	
	2. 八女市（行政）の支援事業の周知 ①八女市の空き家に関する支援事業を利用できるよう周知していきます。		○		○		

基本目標

(4) 伝統文化や住民のつながりを大切にすまち

私たちが住む上妻地区は、昔から人とひとの繋がりを大切にし、伝統文化や行事等を受け継ぎ、先人諸氏の活躍などを後生に伝えてきました。しかし、近年、社会の変化とともに住民のコミュニケーション不足や人とひとの繋がりの希薄化が進み、名所旧跡をはじめ、歴史・伝統や教育・学問の分野で活躍した「高山畏斎」の偉業などを語り継がれることが少なくなってきました。

地域の有形無形の貴重な財産を後生に永く継承することは大切です。現代を生きる大人や次世代を担う子ども達の郷土愛を育み、地域の活性化に繋げるには、歴史・伝統文化を再認識するとともに、新しく移り住んできた人達にもすばらしさを伝え、身近に感じる取り組みが必要です。

このような上妻地区では、人口は横ばい、世帯は増加傾向にありますが、価値観の多様化や近隣関係の希薄化などにより、地域活動に関心を持たない人が増えています。また、新興住宅やアパート等の集合住宅の建築が進み、隣に誰が住んでいるのか分からない人も増えてきています。一方、核家族や高齢化に伴い、高齢者世帯が目立つようになり、将来に不安を感じる人達が増えています。地域活動においても中心となっているのは中高年齢層で、今後の地域活動を支える若年層の姿は少ないのが現状です。

こうした将来への不安を払拭するためにも、小さい頃からふるさとの伝統文化を重んじ、「つながり」を大切にす人づくりや若者たちを惹きつけるような交流の場づくり、きっかけづくりを地域全体で進め、そこから人材の発掘と後継者育成に繋げていく必要があります。



教学上妻継志堂跡

施策

◇テーマ《コミュニティ（人・地域行事・集落施設）》

1. 行政区（隣組）組織の充実強化
2. 上妻まっりの充実
3. 住民交流イベントの充実
4. 集落施設を活用した居場所づくり

◇テーマ《歴史文化・伝統行事》

1. 歴史・伝統文化を守り伝える活動
2. 地域の祭りの掘り起しと活性化

実現に向けての実施計画

(4) 伝統文化や住民のつながりを大切にするまち

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
コミュニティ（人・地域行事・集落施設）	1. 行政区（隣組）組織の充実強化 ①地域コミュニティの最前線である行政区（隣組）の組織活動への理解と協力を発信し、参加促進を図っていきます。	○			○		
	②あいさつ・声かけを基本に隣近所のコミュニケーションをさらに充実していきます。	○			○		
	③地域を引っ張るリーダーの発掘・育成を検討していきます。	○				○	
	2. 上妻まつりの充実 ①地域と学校が一体となった「上妻まつり」を周知徹底するとともに、校区あげでのイベントとしてさらに充実させていきます。		○		○		
	3. 住民交流イベントの充実 ①住民の親睦を目的とした校区ミニソフトバレー大会を開催します。	○			○		
	②地域行事の継承と見直しで、住民の関心と参加意欲の向上をめざします。	○				○	
	③多世代に亘った地区住民の交流（つながり）を意識した新しいイベントの企画を検討していきます。	○			○		
	4. 集落施設を活用した居場所づくり ①公民館を開放し、井戸端会議ができる環境づくりに努めます。	○				○	
②公民館を拠点に多彩な行事を開き、地域住民のつながりを深め、心ふれあう居場所づくりに努めます。	○			○			
歴史文化・伝統行事	1. 歴史・伝統文化を守り伝える活動 ①上妻地区の歴史・文化・史跡等を再認識するため、高山畏斎の偉業を語り伝える等、子どもの頃から歴史文化をはじめ史跡・名所旧跡等に触れる機会づくりを進めます。		○			○	

テーマ	具体的取り組み	実施主体			実施時期		
		住民	協働	行政	短期	中期	長期
歴史文化・伝統行事	②上妻地区の伝統文化・伝統行事等を継承するため住民への理解と啓発に努め、その上で地域コミュニティの醸成に努めます。		○			○	
	2. 地域の祭りの掘り起しと活性化 ①地域に伝承されている祭り等を掘り起し、伝統文化の保護と併せて後生に伝えていきます。		○			○	
	②伝統行事等への理解と協力を深めながら、更なる活性化に向け、後継者の育成に努めます。	○			○		

上妻まつり & 福祉まつり



記念講演



健康相談コーナー



上妻小6年生演奏



南中プラスバンド演奏

歩け歩け運動



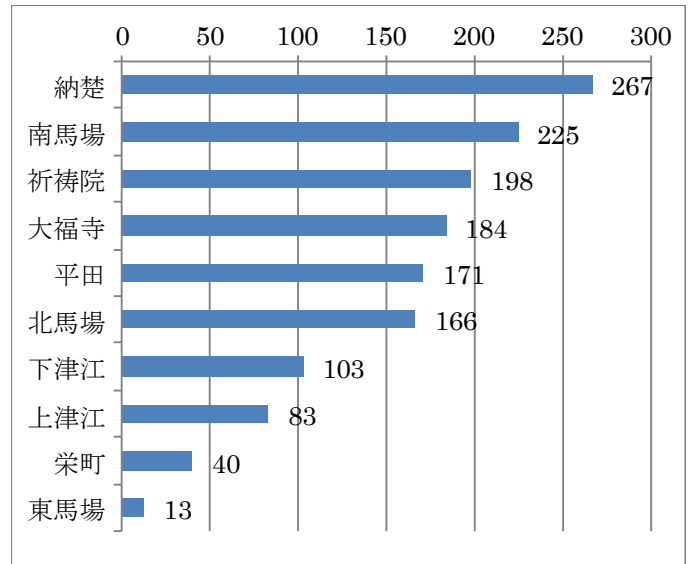
1. アンケート調査結果表（合計）
2. アンケート自由意見要約集
3. 上妻校区地域振興計画策定の主な経過
4. 上妻校区地域振興計画策定委員名簿

アンケート調査結果表（合計）

- ◆回答項目は回答数の多い順に並べ替えています。
- ◆割合の数字は四捨五入しているため、合計は100.0%にならない場合があります。

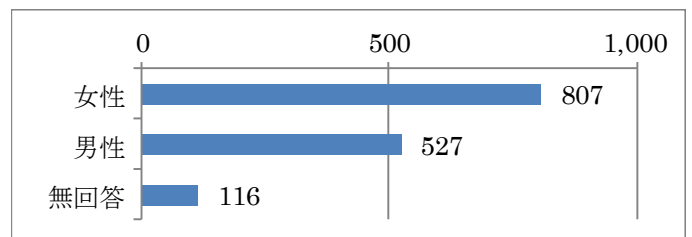
《行政区別回収数》

項目	回答数	割合
納楚	267	18.4%
南馬場	225	15.5%
祈祷院	198	13.7%
大福寺	184	12.7%
平田	171	11.8%
北馬場	166	11.4%
下津江	103	7.1%
上津江	83	5.7%
栄町	40	2.8%
東馬場	13	0.9%
合計	1,450	100.0%



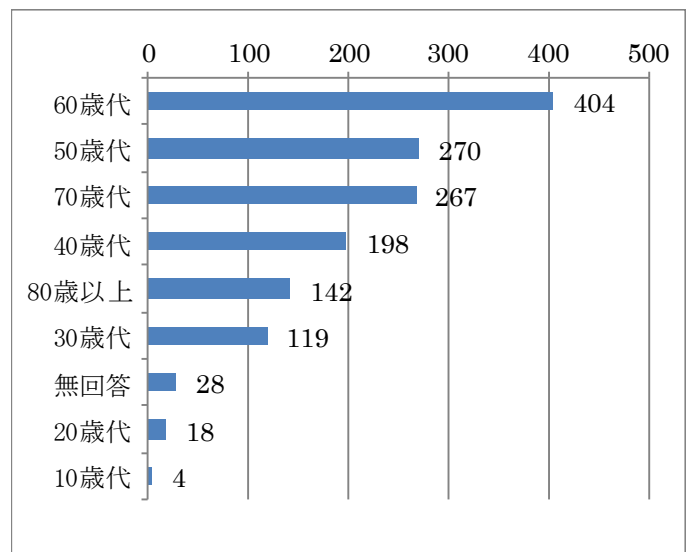
《性別》

項目	回答数	割合
女性	807	55.7%
男性	527	36.3%
無回答	116	8.0%
合計	1,450	100.0%



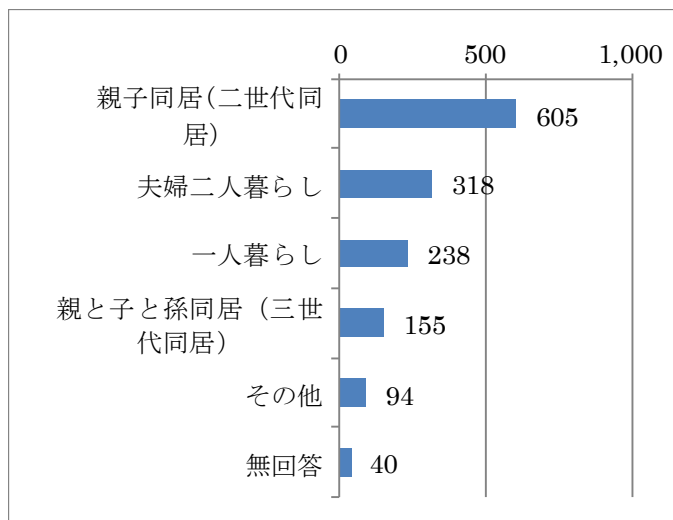
《年齢》

項目	回答数	割合
60歳代	404	27.9%
50歳代	270	18.6%
70歳代	267	18.4%
40歳代	198	13.7%
80歳以上	142	9.8%
30歳代	119	8.2%
無回答	28	1.9%
20歳代	18	1.2%
10歳代	4	0.3%
合計	1,450	100.0%



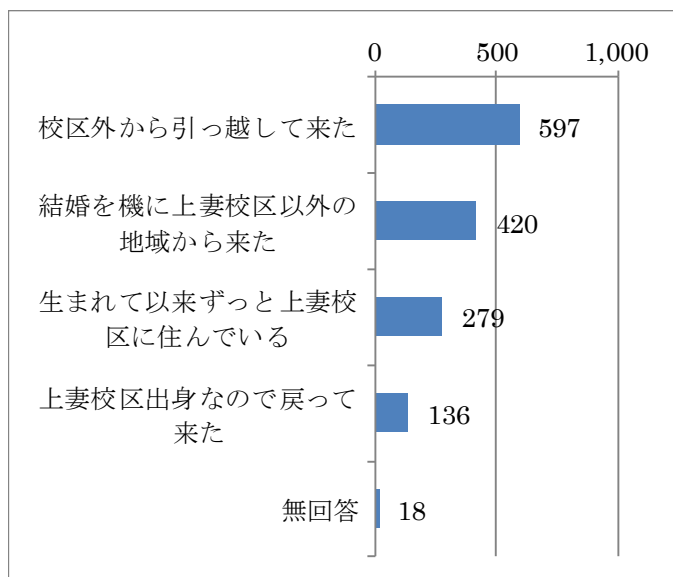
《家族構成》

項目	回答数	割合
親子同居（二世代同居）	605	41.7%
夫婦二人暮らし	318	21.9%
一人暮らし	238	16.4%
親と子と孫同居（三世代同居）	155	10.7%
その他	94	6.5%
無回答	40	2.8%
合計	1,450	100.0%



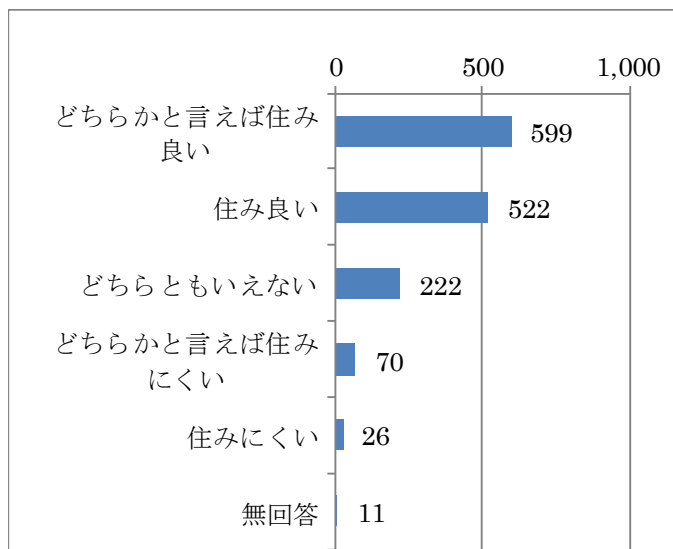
問 1 住まいの状況についてお尋ねします。(回答は1つ)

項目	回答数	割合
校区外から引っ越して来た	597	41.2%
結婚を機に上妻校区以外の地域から来た	420	29.0%
生まれて以来ずっと上妻校区に住んでいる	279	19.2%
上妻校区出身なので戻って来た	136	9.4%
無回答	18	1.2%
合計	1,450	100.0%



問 2 あなたは上妻校区を住み良いと思いますか。(回答は1つ)

項目	回答数	割合
どちらかと言えば住み良い	599	41.3%
住み良い	522	36.0%
どちらともいえない	222	15.3%
どちらかと言えば住みにくい	70	4.8%
住みにくい	26	1.8%
無回答	11	0.8%
合計	1,450	100.0%



問 3

問2で「住み良い」「どちらかと言えば住み良い」と回答された方にその理由をお聞きします。(回答は3つまで)

注：割合は問2での回答者1,121人を分母として算出

項目	回答数	割合
買い物など日常生活が便利	708	63.2%
公害や自然災害が少ない	528	47.1%
住みなれて愛着がある	472	42.1%
自然環境に恵まれている	439	39.2%
近所づきあいがしやすい	234	20.9%
通勤・通学などの交通の便が良い	183	16.3%
道路が整っている	145	12.9%
防犯や防災の面で安心	81	7.2%
地域行事等に参加しやすく楽しいから	40	3.6%
子育て環境が充実している	25	2.2%
よい働き場所がある	22	2.0%
学習やスポーツ活動の機会が充実している	19	1.7%
福祉などの生活支援サービスに満足だから	18	1.6%
教育環境が充実している	15	1.3%
その他	8	0.7%
無回答	5	0.4%
合計	2,942	

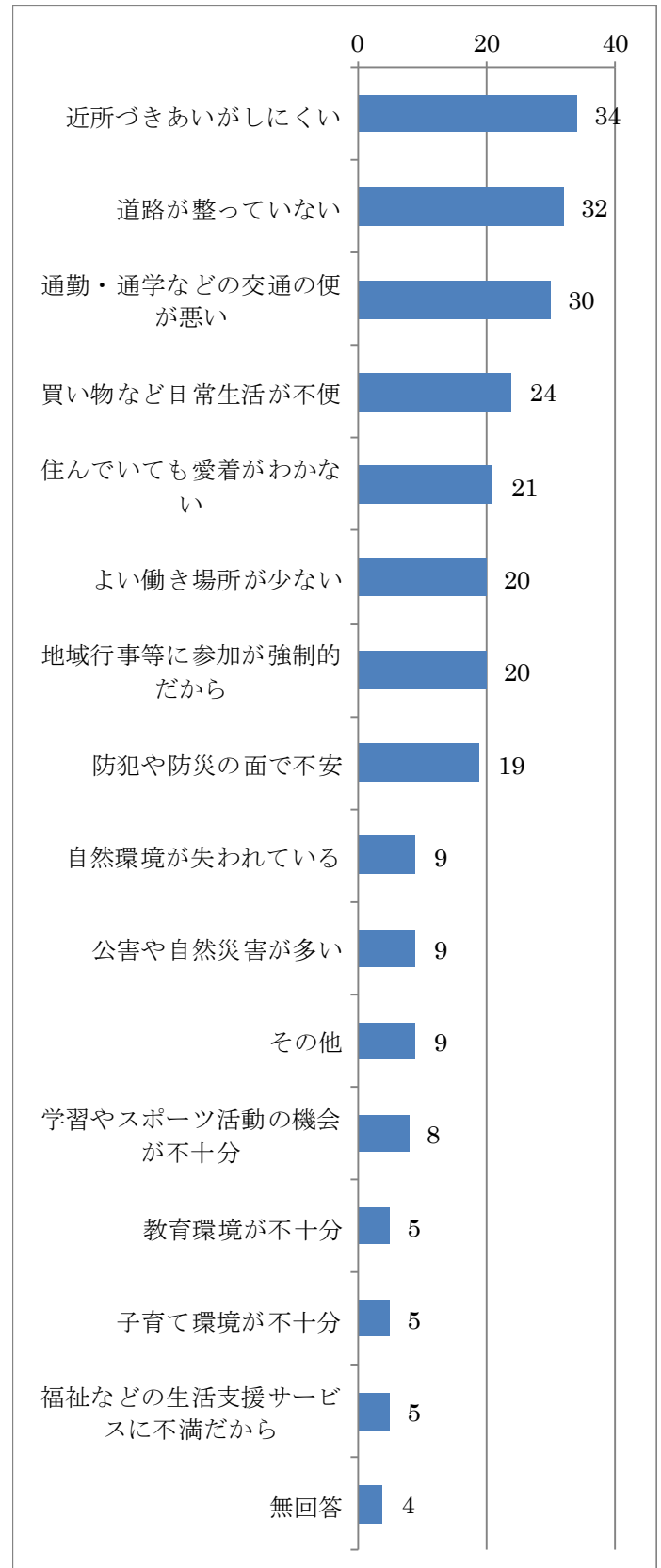


問 4

問2で「住みにくい」「どちらかと言えば住みにくい」と回答された方にその理由をお聞きします。(回答は3つまで)

注：割合は問2での回答者数96人を分母として算出

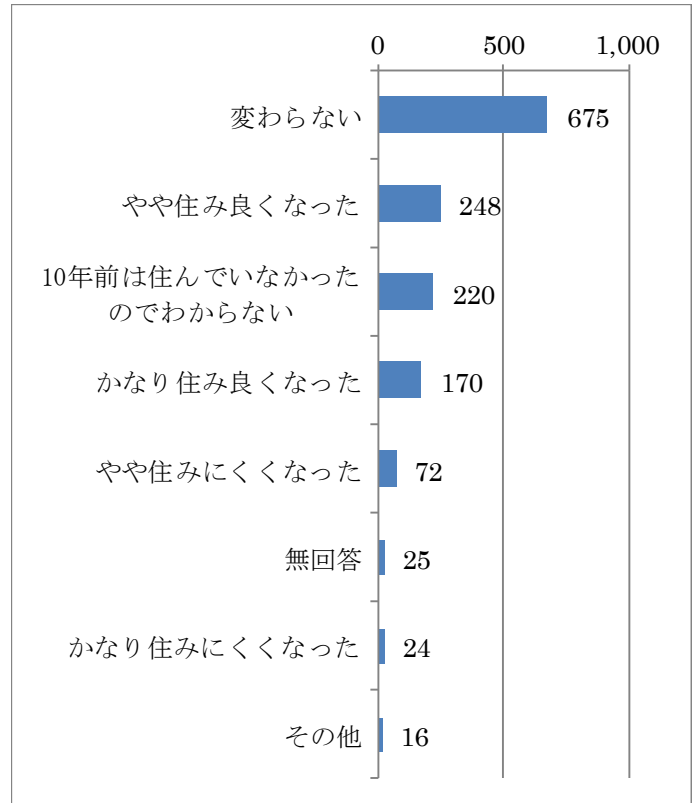
項目	回答数	割合
近所づきあいがしにくい	34	35.4%
道路が整っていない	32	33.3%
通勤・通学などの交通の便が悪い	30	31.3%
買い物など日常生活が不便	24	25.0%
住んでいても愛着がわからない	21	21.9%
よい働き場所が少ない	20	20.8%
地域行事等に参加が強制的だから	20	20.8%
防犯や防災の面で不安	19	19.8%
自然環境が失われている	9	9.4%
公害や自然災害が多い	9	9.4%
その他	9	9.4%
学習やスポーツ活動の機会が不十分	8	8.3%
教育環境が不十分	5	5.2%
子育て環境が不十分	5	5.2%
福祉などの生活支援サービスに不満だから	5	5.2%
無回答	4	4.2%
合計	254	



問 5

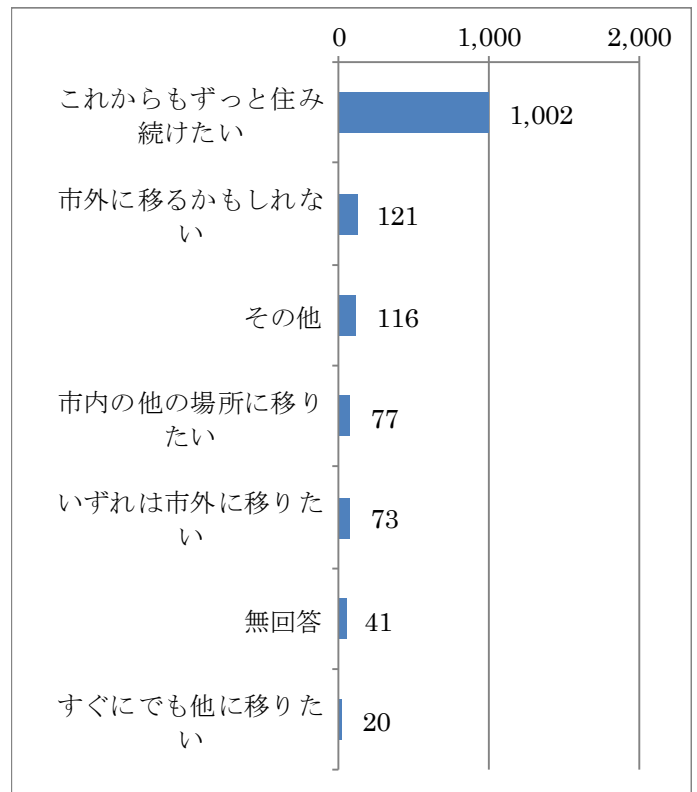
上妻地区は、以前（10年くらい前）と比べて住み良いまちになりましたか。（回答は1つ）

項目	回答数	割合
変わらない	675	46.6%
やや住み良くなった	248	17.1%
10年前は住んでいなかった のでわからない	220	15.2%
かなり住み良くなった	170	11.7%
やや住みにくくなった	72	5.0%
無回答	25	1.7%
かなり住みにくくなった	24	1.7%
その他	16	1.1%
合計	1,450	100.0%

**問 6**

あなたは今お住まいのところに住み続けたいですか。（回答は1つ）

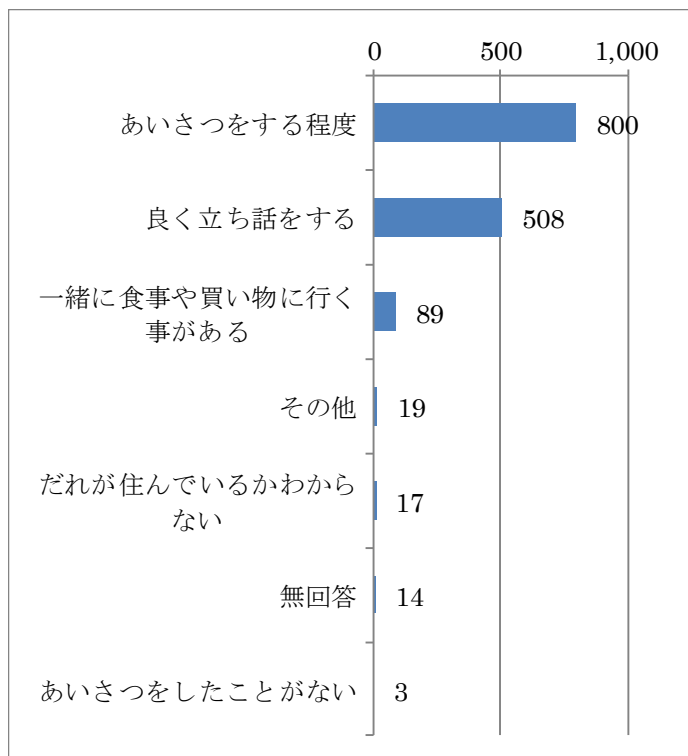
項目	回答数	割合
これからもずっと住み続けたい	1,002	69.1%
市外に移るかもしれない	121	8.3%
その他	116	8.0%
市内の他の場所に移りたい	77	5.3%
いずれは市外に移りたい	73	5.0%
無回答	41	2.8%
すぐにでも他に移りたい	20	1.4%
合計	1,450	100.0%



問 7

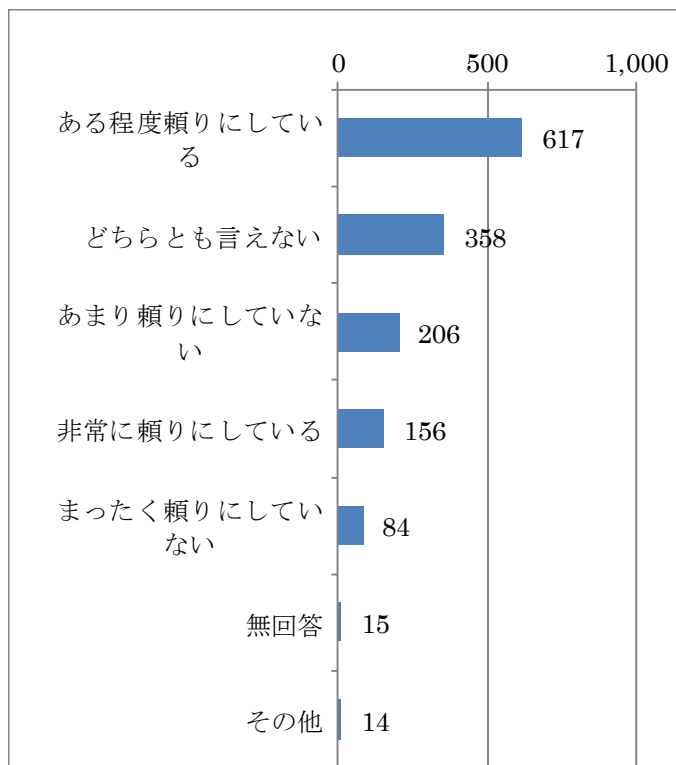
あなたは隣近所の人たちとどのような付き合いをしていますか。
(回答は1つ)

項目	回答数	割合
あいさつをする程度	800	55.2%
良く立ち話をする	508	35.0%
一緒に食事や買い物に行く事がある	89	6.1%
その他	19	1.3%
だれが住んでいるかわからない	17	1.2%
無回答	14	1.0%
あいさつをしたことがない	3	0.2%
合計	1,450	100.0%

**問 8**

あなたは隣近所の方を頼りにしていますか。(回答は1つ)

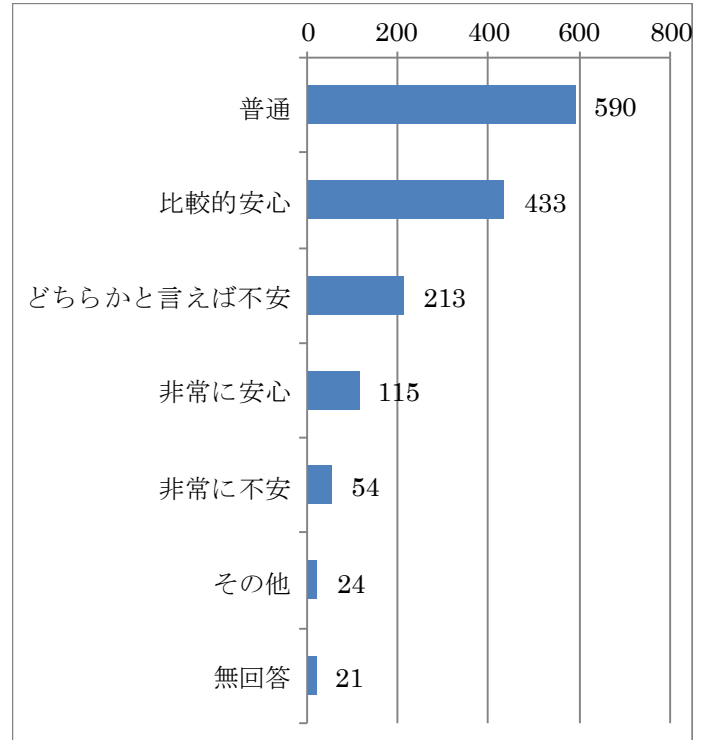
項目	回答数	割合
ある程度頼りにしている	617	42.6%
どちらとも言えない	358	24.7%
あまり頼りにしていない	206	14.2%
非常に頼りにしている	156	10.8%
まったく頼りにしていない	84	5.8%
無回答	15	1.0%
その他	14	1.0%
合計	1,450	100.0%



問 9

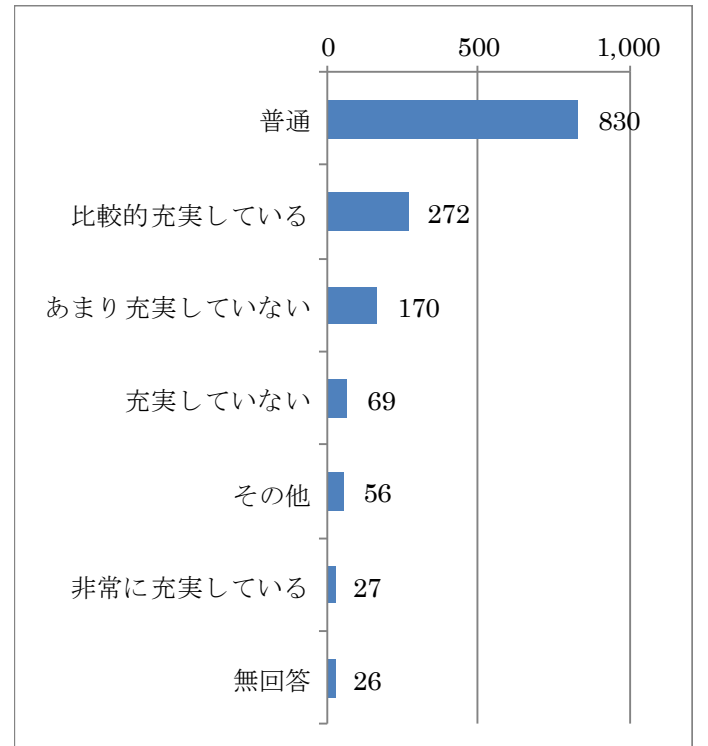
あなたは夜、安心して近所を歩けますか。(回答は1つ)

項目	回答数	割合
普通	590	40.7%
比較的安心	433	29.9%
どちらかと言えば不安	213	14.7%
非常に安心	115	7.9%
非常に不安	54	3.7%
その他	24	1.7%
無回答	21	1.4%
合計	1,450	100.0%

**問 10**

あなたの地域では、防災等に関する対策は充実していますか。(回答は1つ)

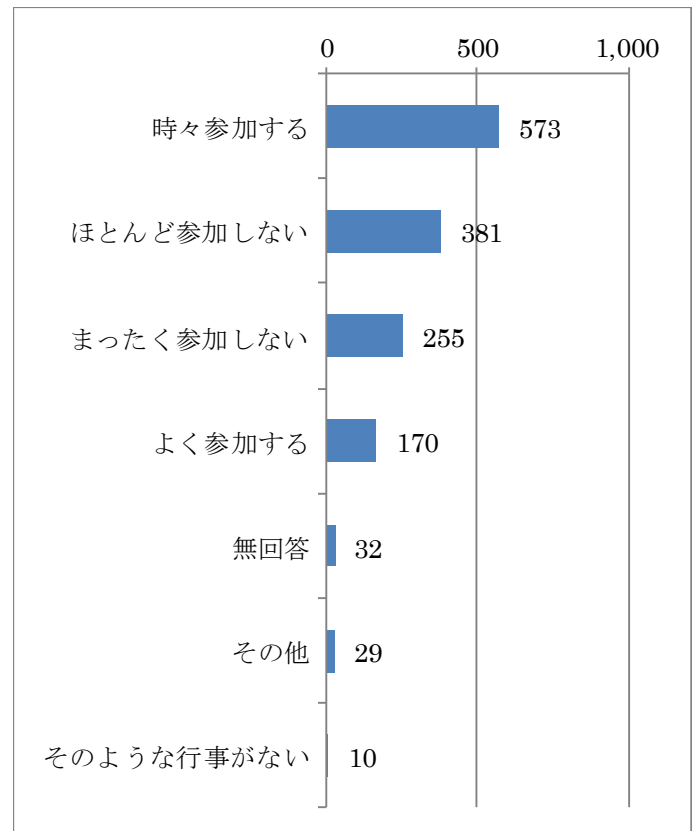
項目	回答数	割合
普通	830	57.2%
比較的充実している	272	18.8%
あまり充実していない	170	11.7%
充実していない	69	4.8%
その他	56	3.9%
非常に充実している	27	1.9%
無回答	26	1.8%
合計	1,450	100.0%



問 11

あなたは住んでいる地域で開催される行事（上妻まつり、スポーツ大会、文化祭、伝統行事等）に参加していますか。（回答は1つ）

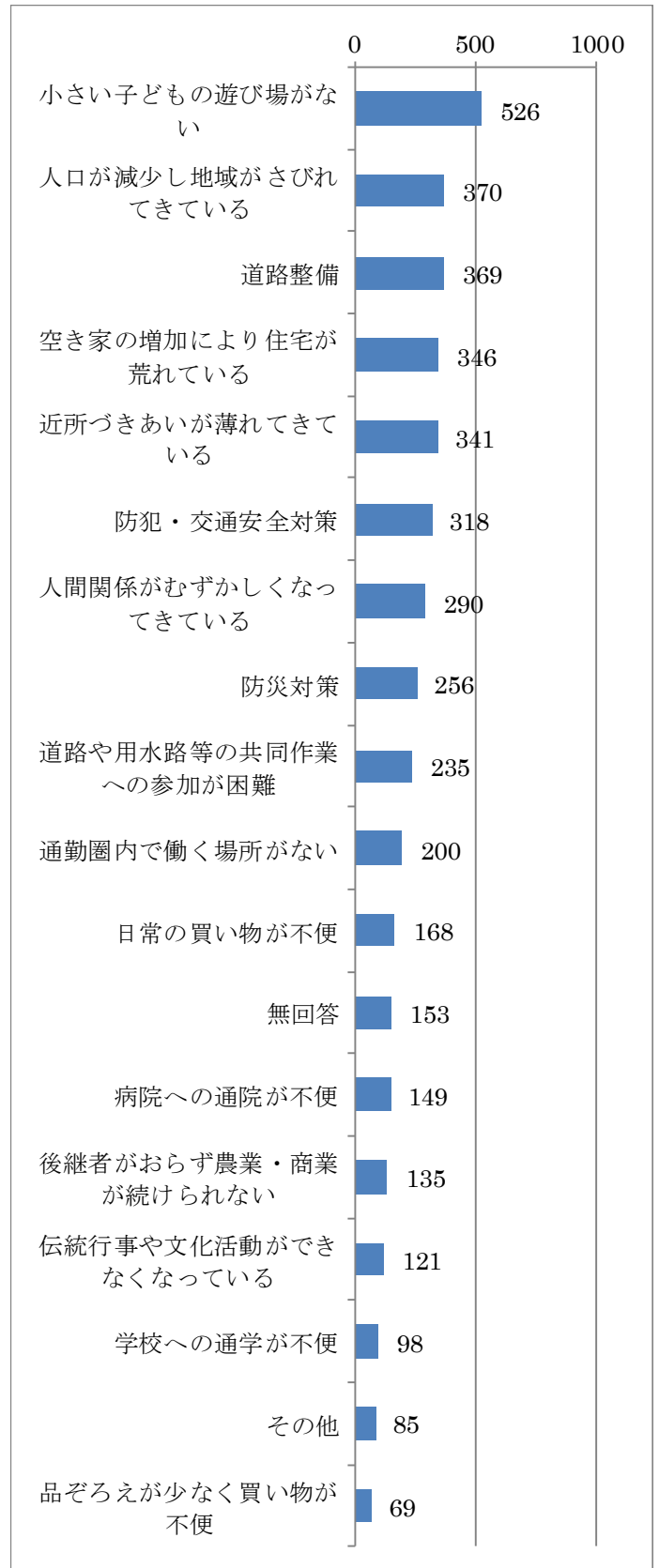
項目	回答数	割合
時々参加する	573	39.5%
ほとんど参加しない	381	26.3%
まったく参加しない	255	17.6%
よく参加する	170	11.7%
無回答	32	2.2%
その他	29	2.0%
そのような行事がない	10	0.7%
合計	1,450	100.0%



問 12

上妻校区で生活を維持する上で、不便や不安を感じることは何ですか。
 (回答は5つまで) **注：割合は全回答者数 1,450 人を分母として算出**

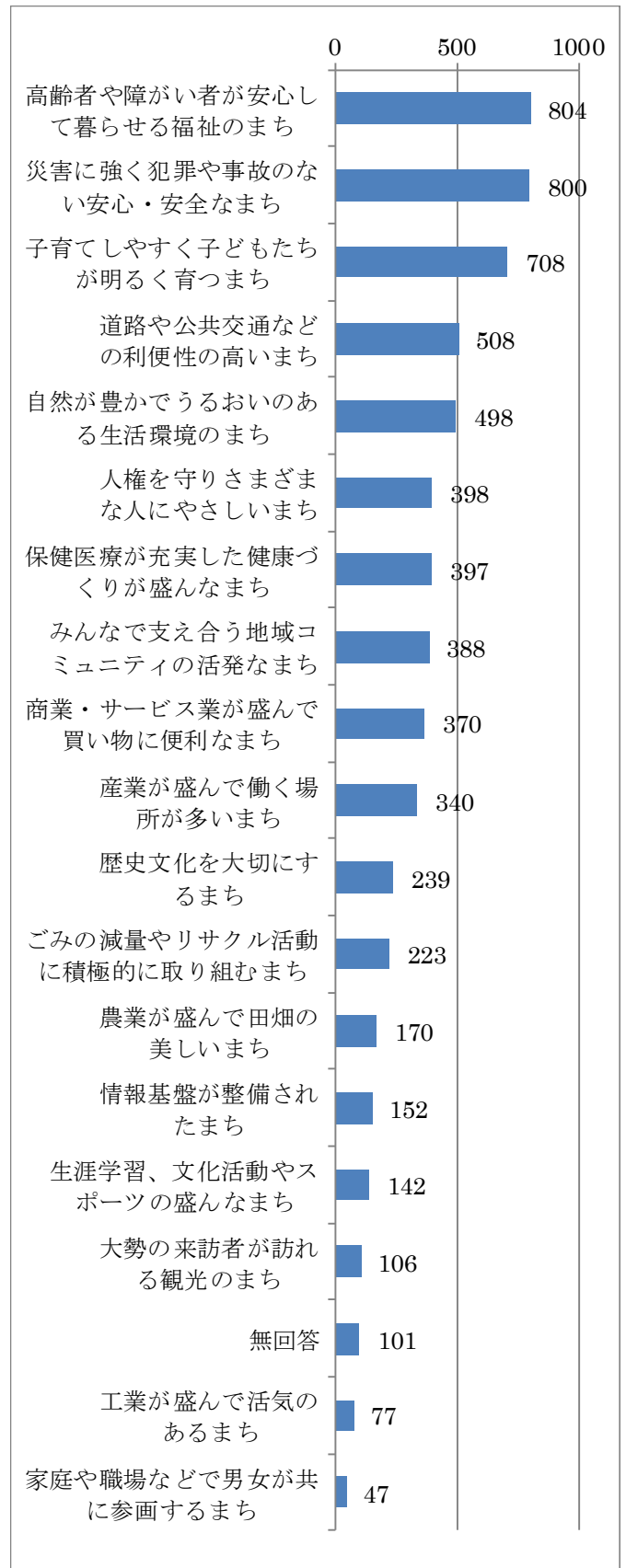
項目	回答数	割合
小さい子どもの遊び場がない	526	36.3%
人口が減少し地域がさびれてきている	370	25.5%
道路問題	369	25.4%
空き家の増加により住宅が荒れている	346	23.9%
近所づきあいが薄れてきている	341	23.5%
防犯・交通安全対策	318	21.9%
人間関係がむずかしくなっている	290	20.0%
防災対策	256	17.7%
道路や用水路等の共同作業への参加が困難	235	16.2%
通勤圏内で働く場所がない	200	13.8%
日常の買い物が不便	168	11.6%
無回答	153	10.6%
病院への通院が不便	149	10.3%
後継者がおらず農業・商業が続けられない	135	9.3%
伝統行事や文化活動ができなくなっている	121	8.3%
学校への通学が不便	98	6.8%
その他	85	5.9%
品ぞろえが少なく買い物が不便	69	4.8%
合計	4,229	



問 13

あなたは、将来の上妻校区をどのようなまちにしたいですか。
 (回答は6つまで) **注：割合は全回答者数 1,450 人を分母として算出**

項目	回答数	割合
高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち	804	55.4%
災害に強く犯罪や事故のない安心・安全なまち	800	55.2%
子育てしやすく子どもたちが明るく育つまち	708	48.8%
道路や公共交通などの利便性の高いまち	508	35.0%
自然が豊かでうるおいのある生活環境のまち	498	34.3%
人権を守りさまざまな人にやさしいまち	398	27.4%
保健医療が充実した健康づくりが盛んなまち	397	27.4%
みんなで支え合う地域コミュニティの活発なまち	388	26.8%
商業・サービス業が盛んで買い物に便利なまち	370	25.5%
産業が盛んで働く場所が多いまち	340	23.4%
歴史文化を大切にするまち	239	16.5%
ごみの減量やリサイクル活動に積極的に取り組むまち	223	15.4%
農業が盛んで田畑の美しいまち	170	11.7%
情報基盤が整備されたまち	152	10.5%
生涯学習、文化活動やスポーツの盛んなまち	142	9.8%
大勢の来訪者が訪れる観光のまち	106	7.3%
無回答	101	7.0%
工業が盛んで活気のあるまち	77	5.3%
家庭や職場などで男女が共に参画するまち	47	3.2%
合計	6,468	



アンケート自由意見要約集

性別	年代	意見
男性	20 歳代	◆河川愛護、道路愛護等の清掃活動が大変です。業者に頼めないですか。
女性	20 歳代	◆近所づきあいなど関わるのがあまりないので、ずっとこの場所に住みたいとは思わない。 ◆イベントや祭りをするのはいいと思うけど、ステージなどの内容に興味を持ってない。若い人、お年寄りが一緒になって楽しめる内容にしてほしい。
女性	20 歳代	◆もっと若者が暮らしやすいまちにしてほしい。
男性	30 歳代	◆大勢の来訪者が訪れる観光のまちとあるが、どこに観光があるのか。
男性	30 歳代	◆上妻校区は働く場所が限られている。もっと地域活性化のためには、大きな工場など働く場所を確保すべきだと思う。 ◆地域のお祭りや行事なども高齢の方ばかりが中心になっているので、今までのやり方を守るばかりではなく、若い人のやり方を取り入れるのも大事だと思う。
女性	30 歳代	◆ごく一部の意見でまちづくりを変えようとする意識の低さにがっかりです。個人個人の意見が違うので、全ての住民（意見を言える年齢以上）のアンケートをすべきでは無いかと思う。
女性	30 歳代	◆上妻小学校、上妻保育園は良いねと他校区の人に良く言われます。これからも良い環境であってほしいと思います。 ◆田畑を耕作している人が高齢化し、いずれ農地が荒れていくのではないかと心配です。 ◆空き家も誰か借りてくれる人があれば良いなと思います。仲介者がいれば良いのでは？
女性	30 歳代	◆今年地震がありました。今後も大きい地震があると言われていいますので、起きた場合の防災対策を充実させてほしいです。子ども達が不安にならないように事前対策が必要と思います。
女性	30 歳代	◆子ども達が安心して遊べる公園や広場を作ってほしいです。遊べる場所が少ないと思います。
女性	30 歳代	◆交通量が多いのに道幅が狭い。 ◆矢部川の3号線橋から、土手の一方通行を逆走してくる県外の車両が多く見られます。道路標識がわかりにくいと思われます。 ◆街灯が少なく暗い。
女性	30 歳代	◆危険な場所にミラーを設置してほしい。見えにくい所が多くあって、交通事故が起きる前に改善してほしい。
女性	30 歳代	◆子どもだけで遊べる公園がほしいです。小さい子どもだけでも遊べるような場所がなく、ボールを使った遊びもできません。 ◆広い道の歩道を整備してほしいです。片側のみしかない所や途中で無くなったりしている所もあり、通学時間帯はとても危険です。
女性	30 歳代	◆高齢者の一人暮らしが増えていいますので、趣味やスポーツの集いとは別に、ただおしゃべりするだけの場があればと思います。例えば、介護の経験のある現役退職者を市の臨時職員として公民館等に派遣していただき、9時～17時の間、高齢者の方に自由に使って頂くとか・・・。
女性	30 歳代	◆上妻校区内に子ども達が歩いて行ける遊べる場所を設置してほしい。

女性	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆公民館が老朽化しているので、地域住民（老若男女）の拠り所としてふさわしい場所、建物にしてもらいたい ◆市営住宅の跡地を緑豊かで子ども達やお年寄りなど、地域住民が安心して過ごせるような公園にしてもらえると、より良い土地利用になると思います。 ◆アンケートをするだけでなく、結果を速やかに検討し、良い意見は実行に移してもらえたらいいと思います。
女性	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆歩道が狭く、子ども達が自転車で通る時など大変危険です。歩行者も車ストレスで、どうかしてほしいです。
女性	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆もう少し子ども達が休日に自由に遊べる公園などを作ってほしいです。また、平田公民館前の道路、特に 442 号の手前の道が狭い割に車の通りが多いため、子ども達の通学が心配です。
男性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報や文化の発信が整備され、病院に行かなくても健康で、知的でユーモアある人間を育み、金銭でなく心が豊かになれるような、そんなまちづくりを本気で目指してほしい。
男性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆交通量が多いのに道幅が狭く、子どもや高齢者が歩行するのに危ないと思う。 ◆矢部川沿いの土手が立花側は整備されているのに、こちら側は整備されていない。 ◆土手沿いに街灯が少なく危険である。
男性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆納楚行政区の市営住宅跡地に、納楚行政区の公民館を建ててほしい。現在の公民館は、4～5 台の車しか駐車できない。20～30 台駐車できる土地に建ててほしい。
男性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆道路に車が駐車してあり近所迷惑である！！
男性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆家の敷地内で、ごみを燃やす老人たちを減らしてほしい。
男性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆これからも安全で犯罪のないまちであってほしい。
女性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆防犯、交通安全対策の強化。
女性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆道路の抜け道がないので災害の時など逃げる事が出来ません。又、道路もデコボコした所が目立ち、通学で通る学生達はボコボコした所を避けて通るので、車はさらに通りづらいです。堀川バス停までも歩いて時間がかかるし、バスも本数が少なく困っています。
女性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆もう少し、小さい子ども達の遊び場があっていいと思います。
女性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆数年前の水害についてはとても不安な思いをしました。その後は防災対策や防災ラジオなどで、早目の避難や対策についての呼びかけがあり、私達自身も気を付ける様になってきたと思います。しかし、最近の環境変化にはまさかと思うことも多々あります。その時の災害等を最小限にするため、訓練や対策法について、もっと積極的に地域で取り組んでほしいと思います。
女性	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆近くにバス停がなく、子どもにもバスに乗る機会を与えられない。自分が車の運転が出来なくなった時のことを考えると不安。 ◆近所に安心して遊べる公園がない。お宮などはあるが薄暗くて大人でも少し怖い感じ。不審者などが出たりとか、女の子がいる家庭では不安が堪えません。

女性	40 歳代	<p>◆バイパスも整備されたのでバスの路線を充実させ、マイカーを使わなくても買い物や病院、JR 駅、高速バス停への利便性を良くしてほしい。利用者が少ないから便数を減らすのではなく、通学をスクールバスに頼っているのを見直し、公共交通の利用への転換を促す。又通勤、買い物に積極的に利用するよう啓発する。</p> <p>◆まちづくりについて、明確なビジョンとランドデザインが必要だと思う。このまま無策を続ければ空き家が増加し、ゴーストタウンとなると思う。</p>
女性	40 歳代	◆子ども達が道路でボール遊びをするのは絶対やめさせてほしい。平気で敷地内に入ったり、車にボールが当たっても知らん顔の子どもがいる。親が注意しない。
女性	40 歳代	◆久留米の様にプールが安く使えたり、ジムが安く使えたりする施設を増やしてほしいです。そして、八女市は病院に通う人が多いよりジムやプールに通い、健康づくりに力を入れているまちづくりを目指していきたいですね。
女性	40 歳代	◆ほど良い自然と商業施設、住むにはとても良い所だと思います。しかし、高校生、大学生の通学、働く者の通勤など、交通機関の不便さも感じます。今の若い子ども達にも、良い環境と人の温かさのある八女に住み続けてほしいと思います。そのためにも八女から通学、通勤が便利になるといいなと思います。
女性	40 歳代	<p>◆市営住宅跡を公園にして頂きたい。</p> <p>◆分別ごみを限られた日だけでなく、いつでも捨てられる場所をどこかに設置して頂きたい。(モラルが必要ですが・・・)</p> <p>◆高齢者が健康でいられるように、自由に運動ができる施設や環境を整備してほしい。(例えば公民館で、子どもも一緒になって遊べる環境づくり)</p>
女性	40 歳代	◆体育館に健康ジムがあれば、健康づくりからコミュニケーションづくりが出来ステキだと思います。
女性	40 歳代	◆小さい子どもからお年寄りまで、みんな仲のよい上妻校区であればいいなあと思います。
女性	40 歳代	◆もっと福祉面、教育面に力をいれてほしい。上妻校区は、昔のように人と人が触れ合う温かいまちに戻ってほしい。(新しい人達も多くなってきたので、難しいかもですね)
不明	40 歳代	◆交通の便が悪いため、八女に残る若い人が減っている。
男性	50 歳代	◆住宅は増えても道路は改善されていない。安心、安全なまちづくりのためにも、改良できないならば道路標識等を設置するなど、安全な道路にしてほしい。
男性	50 歳代	<p>◆町内の人口を増やす様な取り組みも必要。そのためにはまず生活環境の向上。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古い道路の修繕及び整備。 2. 空き家危険家屋の解体。 3. 下水道整備。 4. 側溝整備 (側溝がない道路) 5. 生活支援・小規模店舗の充実。 6. 公園の整備。(お宮などの有効利用・遊具の設置など)

男性	50 歳代	◆堤防を散歩していると、矢部川の景観を観光に利用できないかといつも思う。
男性	50 歳代	◆高齢者が多くなっているのので、低価格などで介護タクシーなどを増やしてほしい。
男性	50 歳代	◆下津江の河川の整備。
男性	50 歳代	◆道路整備を早くして下さい。狭くて危険な所が多すぎます。
男性	50 歳代	◆自分の子ども達も、ここにずっと住みたいと思う地域になってほしい。
男性	50 歳代	◆働く現役世代の男性が、地域でのコミュニティを築けるようなまちづくりをしてほしい。
女性	50 歳代	◆道路整備をもっとしてほしい。
女性	50 歳代	◆若い子育て世代が上妻に住んでいただくためにも、広い世代で交流の出来る様なまちづくりを望みます。また、若い方々が子育て、労働がしやすい環境を整えていただければと思います。
女性	50 歳代	◆道路が狭い。 ◆スーパー、ドラッグストアなど、増えると活気が出そう。 ◆防犯カメラの設置。 ◆道の駅的な休憩所。 ◆皆の公園的な所を作ってほしい。 ◆犬の散歩、お年寄りの憩いの場。 ◆駅もバス停も遠く不便。
女性	50 歳代	◆街灯の電気代金を各世帯が負担するのはおかしいと思うのですが、町内の防犯は市の負担で出来ないのですか？
女性	50 歳代	◆良い人材をわざわざ都会に行かせることなく、長男がしっかり家を守れるよう昔の良いところは受け継ぎ、新しいところは取り入れ、子ども達が故郷（ふる里）に残りたいまちづくりが一番。仕事を八女に増やしてほしい。
女性	50 歳代	◆交通の便利もまあまあで、スーパーなども近くにあり買い物にも不自由なく生活できます。矢部川の自然にも恵まれて住みやすいところだと思います。
女性	50 歳代	◆堤防や遊歩道の街灯が少な過ぎると思います。暗いので人や犬の散歩などしても危険だと思う。街灯がありもう少し明るければ、散歩などで人とのコミュニケーションもなお深まるのではないのでしょうか。
女性	50 歳代	◆高齢者社会なので、買い物、病院へ行く手段を考えてほしい。 ◆若者が住みやすいまちづくり。 ◆魅力ある八女市に！！上妻に！！がんばってください。
女性	50 歳代	◆引っ越し組みです。上妻、三河、福島の校区混同地域だと聞いていました。上妻小からも福島小からも案内が来ます。2年前に話し合いがあり現状維持。子どもが福島小へ行っても、上妻校区として地区の役員とか回って来るのでしょうか。
女性	50 歳代	◆上妻校区に30年以上住んでいますが、道路が全く変わらず、しかも民家の中に家畜市場等があり環境が良くない。又、用水路が通っており何度も危険性を訴えるが、意見が通らず現在も変わらない。更に下水道が通らず困っている。安全で環境整備が充実したまちづくりを目標にしてほしい。
女性	50 歳代	◆地元のお宮の存続が危うい。若い人の加入がない。

女性	50 歳代	◆最近新しい方達が入って来られて無断で駐車するなど、人間関係が難しく感じられます。 ◆毎日の仕事に追われて、色々な行事には参加はムリです。
女性	50 歳代	◆子ども達が安心、安全で暮らせるまち。
女性	50 歳代	◆高齢者が参加出来るイベントをもっと充実してほしい。
女性	50 歳代	◆福岡市方面に通勤しやすい交通機関が必要と思う。 ◆八女高へは 6.5 km と自転車通学の距離で、バイクには乗れず結局自家用車で送迎するようになり、交通の不便さを頻繁に感じる。
女性	50 歳代	◆老人クラブに加入する人が減ってきていると聞くので、何か対策をしてほしい。
女性	50 歳代	◆モラルの向上を目指すまち。 ◇夜間のバイクの音 ◇ごみのポイ捨て ◇猫のえさやり ◇犬のフンの放置 ◇街灯のない道などを改善されると住みやすくなります。
女性	50 歳代	◆ほとんど毎日、外でゴミ等を燃やす人がいて窓を開けられない。洗濯物に臭いがついて困っています。区長さんに言って解決するとは思えず、直接言うわけにもいかず本当に困っています。田舎だからしょうがないではなく、もう少し周りの人に優しく、迷惑をかけず気を使って心地よく生活出来る環境ができればいいです。困った事（相談事）を言いやすいまちになれば・・・。
女性	50 歳代	◆子どもや高齢者等が散策できる場所・公園がない。筑後市は、わりと多い様に感じます。遊歩道等もあり、運動（ウォーキング等）、ラジオ体操ができるような市民公園等ができるといいです。
女性	50 歳代	◆八女という地域の特徴を生かし、伝統の豊富なことに八女の魅力が詰まっていると私は思います。だからこそ、その文化にもっと目を向けてより良い八女にして欲しいと思います。
女性	50 歳代	◆一人暮らし、独居老人、単世帯アパートが増え、隣組・町内の行事等の運営が大変な状況です。世代別に参加出来る行事等を市全体で工夫し、多彩に開催したりして若い世代の流出を止めないと、魅力のない八女市では発展がありません。市と議会は人材を探して、一体となって魅力あるまちづくりをお願いします。
女性	50 歳代	◆高校生からの意見です。街灯のない宅間田と納楚の区間で、自転車で帰っている時に、後ろから人に押されて田んぼに落ちたそうです。とても夜道（通学路）が怖いと言う事で、街灯をつけてほしいとの事です。
女性	50 歳代	◆上妻校区の将来を考え市営住宅跡地の利用として、平常時には子どもからお年寄りまで多くの人々が集い、災害時や非常時には避難所として対応できる施設を兼ねるなど、有効活用できる公園を作っていただきたい。
女性	50 歳代	◆川崎病院の前から西鉄久留米行きのバスを出してほしい。（大島経由で、駐輪場も作ってください）
女性	50 歳代	◆災害が多くなった近年、確かな情報と対策など、すぐに対応できるシステムが整っていると、いざと言う時に安心感が益すと思います。

男性	60 歳代	◆高齢者や障がい者が安心して暮らせて、子育てしやすく、子ども達が安心して明るく元気で住めるまちづくり。
男性	60 歳代	◆私は 60 歳代でまだ働いて居場所がありますが、近所では年配の方が一人で住んであり寂しそうです。こういう人達のための居場所があり、会話が出来るとなればといつも思っています。
男性	60 歳代	◆年寄りのお世話で家族が困窮する様では、安心して歳をとれない。老人のことを第一の課題に考えていただきたい！！そのためにも、身近で低料金の福祉施設の充実を図ってほしい。
男性	60 歳代	◆良くなることにこした事はないが、財政的な事も考えてほしい。
男性	60 歳代	◆人が簡単に集まって会話等ができる場所がほしい。 ◆文化、趣味、娯楽等の行事の情報がほしい。 ◆ボランティア組織の充実。
男性	60 歳代	◆道路、排水路の整備を早急にしてほしい。
男性	60 歳代	◆若い人達がこの町で住んで働いて、子育てやその他の生活環境が良いと感じる様なまちでなければ、人口増や活気は望めないと考えます。優先順位をつけてスピーディーに改善を進める事が大事でしょう。
男性	60 歳代	◆人と人との関わり合いを重点に、今から一歩ずつでもよいので寄りあえるような地域になればと思います。声かけ、挨拶からでも随分違うのではないのでしょうか。
男性	60 歳代	◆南中学校道幅の拡張。 ◆べんがら村への道幅拡張。 ◆夜間灯の整備。
男性	60 歳代	◆若い人が市外に勤め、上妻の産業発展には期待がもてません。せめて荒地、空き地が増えない様に。
男性	60 歳代	◆納楚地区市営住宅跡地の有効利用。例えば、防災設備、駐車場、子どもの遊び場等を完備したコミュニティ施設の新設。 (町内会に対して、土地の無償譲渡、建物建設費の大幅な助成)
男性	60 歳代	◆人口が半減するのは目に見えている。なるべく空き家を無くすことが先決か？又、放置された空き家は防犯上もよくないので、空き家の解体については市、県からの補助金の交付など考慮する必要があると思う。
男性	60 歳代	◆飲酒運転のないまち。 ◆いじめのないまち。 ◆暴走族のないまち。 ◆治安の良いまち。 ◆市民税の安いまち。
男性	60 歳代	◆河川が非常に汚染されている。これらの水は地下水に入り、まだ水道を使用されていない家庭は井戸水なので、この汚染水の混じった水を飲んでいる。健康被害まで至ってないのか？毎年広報で発表されてる河川の汚水調査の結果は最悪である。地区としては第 1 に住民の健康を守るべきと思う。
男性	60 歳代	◆納楚町内には、子どもから大人まで遊べる公園がなく残念である。市営住宅撤去後の空き地に公園やコミュニティセンターを整備してほしい。
男性	60 歳代	◆市営住宅跡地は公園など、子ども達が安心して遊べるような施設にして欲しいです。

男性	60 歳代	◆全体的に緑が少ないので、納楚市営住宅跡地については全体を公園化して下さい。子ども運動公園、グラウンドゴルフが出来るようにし、一部を公民館として地域の活動の場として頂きたい。
男性	60 歳代	◆昔、土曜夜市があったように復活してもらいたい。
男性	60 歳代	◆納楚市営住宅の再利用について。 市営住宅が終わり、跡地の再利用としては公園をつくり、その一部に公民館建設を希望します。子ども達の遊び場と公民館を中心とする災害対策が必要です。これからの高齢者社会を一つのコミュニティーで対応していくために強く希望します。
男性	60 歳代	◆町内道路と水路の整備。
男性	60 歳代	◆田園なのに木や森がなく、美しい公園がない。大きい必要はなくてもいいので、洒落た造りのスペースがほしい（コンクリートのない手積みの石垣や漆喰壁での構造物）。近くには美しい水辺があればと思う。身体の不自由な人も集える場所があれば良いと思う。昔のように子どもが遊べる……。
男性	60 歳代	◆現在町内には自由に使用できる運動広場、子ども達の遊び場がありません。そこで、幼児からお年寄りまで活用できる運動公園、災害時には避難場所として、又、ボランティア活動やサークル活動など、地域の拠点施設として利用できる公園と施設の建設をお願いしたい。
男性	60 歳代	◆町内にも新しく家が建って転入者が増えてきた。なんだか付合いがしにくくなった。もめ事になって気まづくなっています。隣組内が大変まずい。
男性	60 歳代	◆弱者が守られ、お互いに助け合う環境を作ることが大切だと思う。
男性	60 歳代	◆河川環境を是非守って、常識のある製紙会社として取り組んでももらいたい。通学路でもあり、子ども達の環境に対する教育にも悪い。
男性	60 歳代	◆大規模な住宅団地（分譲による一戸建）を開発し、きれいな街並み景観を創造し、子どもの声でにぎやかな地域が必要と思う。
女性	60 歳代	◆歳をとって車の運転ができなくなったら、病院や買い物に行くのが不便になる。乗合タクシーとか、玄関から行きたい場所に低料金で連れて行ってくれるシステムがあればいいなと思う。（移動ボランティアとか）
女性	60 歳代	◆子ども達が遊べる公園などを増やしてほしい。今あるのは神社など暗い場所に遊具があり、誰も遊んでいないし汚れています。
女性	60 歳代	◆昔から住んでいる町内の人と、団地や市営住宅に住んでいる人達との仲が離れていると思います。地元の人達は強いです。団地や住宅に住んでいる人達も町内行事に気軽に参加、活動できる事を望みます。私達も現在の所に来て 40 年近くになりますけど、まだ同じ町内の住民の気がしません。なぜでしょうか。町内のお世話とか、ほとんど町内の人がしています。
女性	60 歳代	◆年寄りが病院へ行ったり、買い物に行くのに決まったタクシーしかないので、上妻地区に自由に乗れる公共交通を運行してほしい。
女性	60 歳代	◆昔からの人がほとんどで、新しく住みついた私達は色めがねで見られ、かげ口を言われる。どうしようもないです。昔ながらの風習が根強く、ついて行けません。
女性	60 歳代	◆幼児が安全に遊べる場所を増やしてほしいです。
女性	60 歳代	◆後継者がいなくなって 60 代が多くなってきていますね。だから子どもが少ない。

女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆下津江は空き家が多く、環境も悪くなっていると思います。 ◆若い世帯も少なく、子どもも大変少なくなっています。 ◆近くにコンビニ等も無くてさみしいですネ。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆下水道を整備して河川の浄化を進めてもらいたい。工場の排水で川が汚い。工場の排煙で環境が悪い。環境基準を守るように事業者を指導して下さい。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆以前は西鉄バスが山鹿まで通っていたので大変便利でしたが、八女営業所止まりになった今、公共交通をせめて兼松位まで復活したら良いと思います。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き巣被害や自転車、バイクなどの盗みが増えています。私自身が被害者になりました。そういうことのないまちになってほしいです。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆道路も美しくして誰もが安心、安全と思えるそんなまちづくり。 ◆子ども達ものびのびと過ごせる、そんなまちづくりを願っています。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆道幅が狭い道路ですが、最近では車の往来が激しく危険を感じます。もう少し道路の整備をして頂けるとありがたい。例えば、ガードレールをつけるなどして頂けると少し安心ですが・・・。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆河川の整備、道路の花壇の除草等、市の方できちんとして頂き、以前のように美しい花が咲き、きれいな水が流れる八女になれば、観光客も増え活気ある八女市（上妻）となる事でしょう。花壇は作りっ放しで後は予算がないから知らないでは、年々枯れていく花があまりにもかわいそうです。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆引っ越してきた頃は、家の近くの用水路は水がとってもきれいで眺めも良かったのですが、最近はいろいろなものが流れて来て水が濁ってどぶ臭く、窓を開けるのを控える様になりました。 ◆夜遅く遊び回っている子ども達の話し声を耳にすることがあります。ちょっと怖いものがあります。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の高齢化、人口減少、年金生活者の増加などから、行政サービスは最小限でよいが、防災、防犯対策は24時間中央機関と直結し、正確な情報と対応ができるよう、システムを明確にしてほしい！でなければ、生涯ここに住むことは不安。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆人権が一番。 ◇上妻まつりの充実による意識向上。 ◇障がい者に関する法律（改正）が浸透すれば、みんなで支え合う地域コミュニティもおのずと叶っていくと思います。 ◆ウォーキングコースがあり、文化祭や祭りが計画され、文庫活動もある納楚は素晴らしいと思っています。このアンケートの質問事項に少々疑問を持ちますが、校区全体の自助の力となり地域から作り上げる自治になることを願います。 ◆納楚市営住宅が取り壊されますが、いつのことか知りたいです。更地にして計画はないと市の説明がありましたが、本当でしょうか？上妻校区には公園がありません。遊具は不要ですが、老人、子どもが時間を共に過ごせるただの広場、木立がある何でもない広場的公園として、使用はできないものでしょうか。
女性	60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ◆以前に比べ家屋は多くなったのですが、田畑が少なくなっているのが寂しく感じられます。

女性	60 歳代	◆市営住宅の跡地に、子どもが遊べる公園やお年寄りのグラウンドゴルフ場を是非、計画してもらいたいと思います。納楚の公民館も古いので、移転出来たら住民の皆さんが集える場所になると思います。
女性	60 歳代	◆町内会費を納めるのは当たり前だと考えますが、公共性のある道路積立金を個人で納めるのは、疑問を感じています。
女性	60 歳代	◆一人暮らしの高齢者が孤立せず、安心して生活できる見守り活動。 ◆公共施設を用いた交流の場の活用。 ◆子どもとシニア世代が利用でき、交流できる公園の設置。シニア世代にとっては安全な運動器を利用して筋力アップにつなげるような場所の提供。
女性	60 歳代	◆老人の一人暮らしが気になります。
不明	60 歳代	◆上妻校区は製紙会社も多く、平田、津江、馬場行政区では、特に河川が汚くなっている。自然環境の面でも魚が住める川を取り戻すことが大事だと思う。上妻まちづくり協議会では、こんな身近な事に取り組んでもらいたい。
不明	60 歳代	◆明るく近所仲良くするためには、自分ひとり一人が心がけて寄り添うことが大事です。
男性	70 歳代	◆集落内の道路で消防車、救急車が入れない道路が約 800m 中心部にある。70 年間、改善の気配すらない。取り残された所だ！一体、市の行政は何をしているんだ！
男性	70 歳代	◆行政区は道路が狭くて、救急車や消防車が入らない。早くなんとかしてほしい。 ◆集団でスポーツをする場所がない。矢部川城の西側にスポーツができる多目的広場を作ってほしい。(市に要望)
男性	70 歳代	◆安心で上下ないまち。
男性	70 歳代	◆郷土の未来を担う子ども達の成長を見守る、やさしいまちづくりを……。
男性	70 歳代	◆最近子どもの遊び声が、日曜日にたまに聞こえる。自分達が子どもの頃は、お宮とかで日曜日には朝早くから夕陽が沈むころまで外で遊んだものだ。今、子どもの数が少なくなった若いお母さんに、頑張って子育てに励んでほしいと願っています。
男性	70 歳代	◆自然が豊かで、生活環境がしやすいまちであってほしい。
男性	70 歳代	◆上妻校区は市の中心から近く、大都市であるならばダウンタウンに近い高級住宅地としての条件を持ちながら、文化施設が少なく、公園はなく、さびしい田舎町となっています。べんがら村も発足当時は、新しい施設でしたが周りの土地はそのままです。
男性	70 歳代	◆砂利道を老人が転倒したり、中学生が自転車で転んだりします。アスファルトにして頂くようお願いいたします。
男性	70 歳代	◆用水路の整備、雨水対策が急務である。県、市の整備で豪雨対策が大切である。 ◆生活道路の拡張、整備。
男性	70 歳代	◆住みなれた市営住宅を高齢者になって立退くのは残念、苦しい気持ちです。
男性	70 歳代	◆下水道を早くしてほしい。
男性	70 歳代	◆上妻まつりは、なかなか良いと思います。知恵を出して、前進をして頂きたいと思います。期待しております。

男性	70 歳代	◆道路上に鉢やプランターが置かれたり、道路上にはみ出した木や構造物は撤去すべきです。隣近所の方は付合い上言えないので、環境監視員などを置き、注意していただいたりすれば良くなるかと思う。住み良い環境は住民から作られると思う。
男性	70 歳代	◆文化生活を行う上で、下水道の整備を早く完備する事。
男性	70 歳代	◆道路、河川の悪い所を市役所に要望願います。
男性	70 歳代	◆災害や犯罪や交通事故のないまちづくり。
女性	70 歳代	◆私の住む町内は空き家が増え、周りの人が迷惑しています。立木が放置され台風の後などとても大変です。町内でどうかできないでしょうか。車が通る道でも木や葉が落ちて大変です。
女性	70 歳代	◆町内の道路が狭くて消防車や救急車が自由に出入りできないので、夜中など病気がした時が心配。
女性	70 歳代	◆上下水道の完備。
女性	70 歳代	◆4年前の北部九州豪雨で、矢部川、花宗神社の下方の土手がかなり傷んでいる！！再度大雨がきたら危険ということなので、早急に補修して頂きたいです。
女性	70 歳代	◆子ども達がよく挨拶をしてくれます。子ども達のがのびのびと育つよう、大人が出来るだけの協力をしてあげたいと思います。
女性	70 歳代	◆独り暮らし高齢者にとって、やさしいまちにしてほしい。又、認知症に対し正しい理解と見守りをお願いします。
女性	70 歳代	◆老人が健康でいられるための健康遊具をどこか広場に置いてもらい、老人達が楽しく語りながら集える（健康を維持できる）場所があったら良いと思う。
女性	70 歳代	◆道路などは大変良くなったし、色々良くなった所はたくさんあります。
女性	70 歳代	◆上妻校区は病院も多く医学部のある久留米市にも近いので、医療にかかわるまちづくりを進めたらどうだろうか。
女性	70 歳代	◆納楚地区は、自由に使える敷地がありません。夏祭り、グラウンドゴルフは個人の土地を借りています。子ども達が自由に遊べる公園があったらいいと思います。住宅跡地にできたらと思います。
不明	70 歳代	◆祭りがだんだん少なくなって来ている。地域の交流をするために、小さな祭りをする事も大事！
不明	70 歳代	◆祈祷院～津江間の道路拡張。
不明	70 歳代	◆子ども、高齢者が一緒に遊んだり運動が出来る様な広場、又は公園があればいいと思う。
不明	70 歳代	◆八女は大変住み良い所ですが、若い人たちが市内で働ける様な産業がほしい。 ◆車に乗らない人の交通の便を良くしてほしい。
男性	80 歳以上	◆お互いに相手を尊敬し、助け合い支え合う人間関係のあるまちにしたい。
男性	80 歳以上	◆公民館が古く駐車場がない。 ◆道路の停止線、横断歩道の標示が消えかかっている。 ◆運転マナーが非常に悪い、思いやりがない。
男性	80 歳以上	◆八女市の竹林を日本一きれいにしてください。シルバーも仕事が多くなります。

男性	80歳以上	◆上妻校区は、昔からあこがれの村として捉えていた。しかし、あちこちから人が交じり思想も変わり、中々お付き合いが困難となった。自分達はもう高齢者となり人生は長くはないが、将来は益々発展する村に期待しています。
男性	80歳以上	◆子どもの人口が増える様な事を考えるべき。
男性	80歳以上	◆狭い道路の整備。
女性	80歳以上	◆私の住む町内は空き家が増え、周りの人が迷惑しています。
女性	80歳以上	◆前畑団地より旧3号線に出る向かい側に、大きなミラーがあれば事故防止につながる。
女性	80歳以上	◆空き家の持ち主が近くにいないため、現在の状況（木が生い茂っていること、家屋が崩壊していること）が全くわかっていられない様子で荒れっ放しです。どうか解決してほしいです。
女性	80歳以上	◆市営住宅跡地を公園化など緑地としてほしい。林など、上妻校区西の緑地化として有効活用されたい。
女性	80歳以上	◆不用品提出について、以前はご近所の方が受け取りされていたのに、今近所の方は挨拶どころか廻ってもこられず、町内でも離れた方が来られて、用意していても見えません。昔のように暖か味がありませんね。時代のせいでしょうか？
女性	80歳以上	◆高齢者にとって災害や犯罪・事故のない、安心・安全なまちになればと思います。
女性	80歳以上	◆はじめは田舎と思われる寂しい村でしたが、今ではすっかりいろんな面で整備され、住み良い大好きなまちになりました。アンケート調査表に記入させていただいたことで、良い所に住んでいると再認識させていただきました。感謝！感謝！
女性	80歳以上	◆現在の状況で、何の不満もなく住み良い所と思いますが、何さま高齢なので将来楽しく穏やかに、幸せに過ごせれば良いかなと思っています。町内の方々も親切にさせていただくので、有難いと感謝しております。
不明	80歳以上	◆安全で住みやすいまちを作ってもらいたいと思います。
不明	80歳以上	◆自分の家だけでなく、隣近所も良かったら時々でよいので掃除してもらいたい。
不明	不明	◆子どもの減少により子ども会等の存続が厳しいので、子ども会をなくして上妻校区全体のイベントを作った方が、お年寄りから子どもまで楽しめるのではないのでしょうか。
不明	不明	◆少子高齢化が増加する一方で、高齢者が他県から集まって来るまちにしたら。
不明	不明	◆唯一の公害、製紙会社の排水。魚が住める川へ戻すか、撤退の要望。

上妻校区地域振興計画策定の主な経過

開催日	会議名等	内容
28・6・6	◇区長会・まちづくり協議会役員会	・地域振興計画策定に関する説明
28・6・17	◇まちづくり協議会団体代表者・区長 会臨時会議	・地域振興計画策定に関する説明
28・6・29	◇地域づくり提案事業申請 (上妻校区地域振興計画策定)	・地域づくり企画提案書を八女市に 申請
28・7・25	◇まちづくり協議会団体代表者・区長 会会議	・上妻校区地域振興策定委員会の立 ち上げについて
28・7・28	◇地域づくり提案事業採択通知	・地域振興計画策定採択
28・8・2	◇地域づくり提案事業補助金交付申請	
28・8・3	◇地域づくり提案事業補助金交付決定	・補助金 30 万円
28・8・17	◇第 1 回策定委員会	・策定委員の役割等について ・今後の進め方
28・9	◇アンケート調査	・全行政区
8・9・14	◇第 2 回策定委員会	・ワークショップ (現状、課題)
28・10	◇アンケート集計作業	
28・10・14	◇第 3 回策定委員会	・ワークショップ (現状、課題)
28・11・28	◇第 4 回策定委員会	・アンケート調査結果説明 ・ワークショップ内容説明
28・12・14	◇第 5 回策定委員会	・ワークショップ (課題解決策)
29・2・24	◇第 6 回策定委員会	・地域振興計画素案検討
29・3・6	◇三役会	・地域振興計画最終案確認
29・3	◇印刷製本発注	

策定委員会 (ワークショップ)

上妻校区まちづくり協議会構成団体

- ◆上妻校区行政区長会
- ◆上妻校区自治公民館長会
- ◆上妻校区民生・児童委員会
- ◆上妻校区老人クラブ連合会
- ◆上妻校区婦人会
- ◆八女市消防団第 3 分団
- ◆八女市交通安全協会上妻支部
- ◆上妻校区青少年健全育成会
- ◆上妻小学校子ども会育成会
- ◆上妻小学校 P T A
- ◆南中学校 P T A
- ◆上妻よらんかい
- ◆八女地区防犯協会上妻支部
- ◆個人会員



上妻校区地域振興計画策定委員名簿

役職	氏名	選出団体	行政区	備考(所属役職)
委員長	江口 秀幸	行政区長	大福寺	地区代表
副委員長	田村 邦子	民生児童委員	大福寺	校区代表
書記	下川 文比古	個人会員	南馬場	書記
会計	松下 泰子	婦人会	大福寺	代表
委員	甲木 安道	行政区長	祈祷院	
委員	高山 利文	行政区長	上津江	副代表
委員	三原 源之助	行政区長	下津江	
委員	湯口 秀樹	行政区長	東馬場	
委員	野田 佳世子	行政区長	南馬場	
委員	中村 博吉	行政区長	栄町	
委員	澤田 俊夫	行政区長	北馬場	
委員	佐野 正義	行政区長	納楚	
委員	中村 政範	行政区長	平田	
委員	生武 俊秀	公民館長	平田	地区代表
委員	栗林 文恵	主任児童員	北馬場	
委員	宰川 姫子	民生児童委員	納楚	
委員	丸山 長人	老人クラブ	北馬場	校区会長
委員	森田 功	老人クラブ	祈祷院	校区副会長
委員	高山 裕子	婦人会	上津江	
委員	樋口 七江	婦人会	平田	
委員	牛島 和人	上妻消防団	平田	分団長
委員	渡邊 光伸	上妻消防団	大福寺	副分団長
委員	牛島 孝行	交通安全協会	納楚	支部長
委員	権藤 富夫	交通安全協会	平田	副支部長
委員	牛島 孝之	青少年健全育成会	上津江	会長
委員	栗山 徹雄	青少年健全育成会	栄町	顧問
委員	中島 富定	青少年健全育成会	納楚	顧問
委員	伊井 渡	青少年健全育成会	祈祷院	顧問
委員	平島 悠二	子ども会育成会	北馬場	会長
委員	鍋田 祐樹	小学校PTA	大福寺	会長
委員	大隈 俊英	小学校PTA	納楚	副会長
委員	一木 一生	中学校PTA	祈祷院	会長
委員	鵜木 静子	上妻よらんかい	平田	代表
委員	国友 浩	上妻よらんかい	祈祷院	
委員	濱崎 和明	上妻よらんかい	上津江	

上妻校区地域振興計画

企画・編集 上妻校区まちづくり協議会

上妻校区地域振興計画策定委員会

平成29年3月 発行

◆この計画書は八女市地域づくり提案事業として、八女市の補助金を受け作成しました。

※この「地域振興計画」は、今後上妻校区のまちづくりに活用していきますので、各隣組単位で大切に管理・保存してください。